

令和4年度

川崎市市民ミュージアム年報

KAWASAKI CITY MUSEUM ANNUAL REPORT 2022.4 - 2023.3



川崎市市民ミュージアム年報

目次

令和4年度年報の発行にあたって	3
概要	4
沿革	5
令和4年度 利用者統計表	6
展示・上映	
企画展	
のぞいてみよう昔の暮らし ―昭和から平成へ―	8
市内巡回展「救う過去、つなぐ未来 ―川崎市市民ミュージアム被災後活動報告展―」	12
被災から今、ふたたび ―川崎市市民ミュージアム修復収蔵品展―	14
鉄道開業150年記念展 川崎鉄道三題噺	18
the 3rd Area of “C” ―3つめのミュージアム―	22
第56回 かわさき市美術展	28
映画上映	
「河 あの裏切りが重く」デジタル修復版 35mm フィルム プレミア上映会	32
川崎市市民ミュージアム出張 タヤけ上映会	34
その他の展示・共催	36
教育普及	38
収集・貸出・特別利用	44
調査・研究	48
広報	51
資料	56



令和4年度年報の発行にあたって

川崎市市民ミュージアムは、令和元年東日本台風によって地下収蔵庫等に浸水被害を受けて以来、外部支援団体をはじめ、多くの方々から御支援・御協力を賜りながら被災資料のレスキュー・修復活動を継続するとともに、館外やオンラインでの博物館活動を行っております。また、館の管理運営につきましても、令和3年度末の指定管理期間終了をもって川崎市の直営事業所として再出発いたしました。困難な状況が続くなか、当館の活動を支えてくださっている皆様に厚く御礼申し上げます。

さて、本年報では、被災資料のレスキュー・修復活動以外に行った令和4年度の事業を御報告いたします。

今年度も、川崎市民の創作活動の発表の場である「かわさき市美術展」をはじめ、7つの展覧会（4つは館外会場、3つは当館 Web サイト上）、5つのミュージアム講座（すべて当館 Web サイト上）、6つのワークショップ（5つは館外会場、1つはオンライン会議形式）と2つの映画上映会（いずれも館外）、史跡めぐり等を実施いたしました。また、市内を流れ、江戸から昭和の時代にかけて人々の暮らしと経済を支えてきた「二ヶ領用水」の開削の様子を紹介する社会科教育推進事業を市立小学校で行ってまいりました。

以上の活動は、被災により当館に来館いただけないことに加え、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中でも、博物館・美術館活動を継続し、多くの市民の皆様に参加していただくため、指定管理時代から継続して職務にあたっているスタッフ等が創意工夫を重ね、多くの外部の方にも御協力をいただいて実現させたものであり、これらの成果や経験が当館の無形の財産として蓄積されつつあると実感しております。

本市では、現在、可能な限り被災リスクの少ない場所での新たなミュージアムの整備を目指して検討を進めておりますが、新たなミュージアムの開設には、まだ多くの年月を要します。

それまでの間、市民の皆様は文化芸術に触れる機会を提供していくとともに、出張形式、オンラインだからこその新たな鑑賞体験や、当館と市民、市民相互の交流を創出していくことが、市民ミュージアムに期待される役割のひとつであると考えております。

今後とも、被災資料のレスキュー・修復と博物館・美術館活動の継続・充実のため、スタッフ一同全力を尽くしてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

令和5年3月

館長 小沢正勝

概 要

都市は、その形成過程において、さまざまな人が集まることにより次々と新しい文化を生み出している。川崎市市民ミュージアムは 1988(昭和63)年 11 月、「都市と人間」を基本テーマに開館し、都市の発展過程やそこで生まれ育った文化を見つめるための資料や作品の収集・調査・研究・展示などの活動を行ってきた。

特に、今日私たちの暮らしに深い関わりをもち、都市文化の形成に大きな役割を果たしてきたポスター、版画、写真、漫画、映画、映像といった複製技術による芸術作品、川崎に関連する考古・歴史・民俗資料及び芸術家の作品を対象にした基本テーマの追求は当館の特色である。

なお、令和元年東日本台風の被害により施設は休館しているが、被災収蔵品のレスキュー作業を行うとともに、アウトリーチによる展示や教育普及事業などを継続して実施しているほか、昨年度に引き続き Web 上での活動を展開している。

トーマス転炉（日本鋼管 現 JFE 寄贈）

英国人シドニー・G・トーマスが発明した燐を含む鉄鉱石の製鋼炉。1937(昭和 12)年から 1957(昭和 32)年まで稼働し、日本の鉄鋼業界の発展に大きく貢献した。京浜工業地帯発展史のなかでも象徴的な産業遺産といえる。

沿革（開館まで）

1980（昭和 55）年

川崎市博物館構想委員会を設置（担当教育委員会）

漫画・写真・映像文化センター構想を発表（担当企画調整局）

1981（昭和 56）年

川崎市博物館基本構想を策定

現代映像文化センター基本構想を策定

1982（昭和 57）年

川崎市博物館建設調査委員会を設置（教育委員会）し、同時に展示基本計画書を策定

現代映像文化センター基本計画委員会を設置（企画調整局）し、基本計画を策定

1983（昭和 58）年

川崎市博物館資料収集委員会（教育委員会）、現代映像文化センター収集委員会を設置（企画調整局）し、収集事業がスタート

両計画を一体化するため、仮称川崎市博物館・現代映像文化センター一体化に関わる委員会を設置（企画調整局）し、基本計画を策定

1985（昭和 60）年 3 月

建築基本設計を完了

1985（昭和 60）年 3 月

展示基本設計を完了

1985（昭和 60）年 4 月

教育委員会に市民ミュージアム準備事務室が発足

1985（昭和 60）年 11 月

建築実施設計を完了

1986（昭和 61）年 3 月

展示実施設計を完了

1986（昭和 61）年 3 月

建築工事着手

1987（昭和 62）年 7 月

展示工事着手

川崎市市民ミュージアム条例を制定

1988（昭和 63）年 11 月

川崎市市民ミュージアム開館

令和4年度 利用者統計表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
常設展	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
企画展	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
映像ホール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミニホール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
館内イベント・講座等	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
ミュージアムライブラリー（図書）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミュージアムライブラリー（映像）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミュージアムライブラリー（閲覧）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
研修室等利用者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミュージアムギャラリー1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミュージアムギャラリー2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
館外展示入館・出張プログラム等	0	43	483	1799	1512	1616	3398	2785	845	597	1367	1024	15469
合計	0	43	489	1799	1512	1616	3398	2785	845	597	1367	1024	15475
利用者累計	43	532	2331	3843	5459	8857	11642	12487	13084	14451	15475		
開館日数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1日平均利用者数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

展示室別内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
企画展示室1	有料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	シニア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高校・大学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中学生以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般（団体）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	シニア（団体）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高・大生（団体）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他（団体）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	無料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	招待券	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	障害者等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中学生以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	取材	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
企画展示室2	有料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	シニア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高校・大学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中学生以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般（団体）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	シニア（団体）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高・大生（団体）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他（団体）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	無料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	招待券	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	障害者等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中学生以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	取材	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アートギャラリー	有料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	シニア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高校・大学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中学生以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般（団体）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	シニア（団体）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高・大生（団体）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他（団体）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	無料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	招待券	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	障害者等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中学生以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	取材	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
映像ホール	有料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	シニア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高校・大学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小中学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	優待割引	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	スカラチケット	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	無料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	招待券	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	障害者等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
映像ホール	未就学児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

展示・上映



のぞいてみよう昔の暮らし ―昭和から平成へ―



会場	川崎市大山街道ふるさと館 展示室
会期	2022年6月18日(土)～2022年8月28日(日)
日数	72日間
入場者数	3,062人
観覧料	無料
主催	川崎市市民ミュージアム
共催	川崎市大山街道ふるさと館

現在、普段から何気なく使っている水道・電気・ガス・通信といったライフラインは、今から約90年前まで遡ると、すべての家庭で使えるものではなく、暮らしに必要なことは主に手作業で行うことが当たり前だった。

戦後、高度経済成長期を経て、世の中が豊かになると、人々の暮らしも大きく変化した。各家庭にライフラインや電化製品が行きわたり、これまでより家事に手間も時間もかからなくなっていく。

本展では、川崎市内で実際に使われていた道具を、写真パネルも含め約95点展示し、各時代の生活道具を通して昭和から平成の暮らしの変化について紹介した。

A4 チラシ 31,000部

B3 ポスター 200部

関連イベント

企画展記念講演会「高度経済成長期の川崎 ―暮らしの変化を探る―

講師 谷 拓馬（川崎市市民ミュージアム学芸員）
 日時 2022年7月9日(土) 10:00～12:00
 会場 川崎市大山街道ふるさと館 2階イベントホール
 主催 川崎市大山街道ふるさと館
 参加者数 24名

夏休み小中学生のためのふるさと発見講座「昔の暮らしを調べよう」

講師 林 花音（川崎市市民ミュージアム学芸員）
 日時 2022年8月6日(土) 10:00～12:00
 会場 川崎市大山街道ふるさと館 2階イベントホール
 主催 川崎市大山街道ふるさと館
 参加者数 14名

竹のボールをつくろう！

講師 民具製作技術保存会（民技会）竹細工グループ
 日時 2022年7月24日(日) ①10:30～12:00 ②14:00～15:30
 会場 川崎市大山街道ふるさと館 2階イベントホール
 主催 川崎市市民ミュージアム
 参加者総数 72名（うち保護者40名）

昔のおもちゃで遊んでみよう！

講師 川崎市市民ミュージアム学芸員、川崎市大山街道ふるさと館学芸員
 日時 2022年8月21日(日) 14:00～15:30
 会場 川崎市大山街道ふるさと館 2階イベントホール
 主催 川崎市市民ミュージアム
 参加者数 19名

のぞいてみよう昔のくらし ―昭和から平成へ― 出品目録

番号	資料名	主な使用年代	製造元・製造年	点数	所蔵
第1章 手作業の時代（約90年前～70年前／昭和初頭～昭和20年代後半）					
1-1 衣					
1	くけ台	90年以上前～50年前	—	1	川崎市市民ミュージアム
2	裁縫箱	90年以上前～	—	1	川崎市市民ミュージアム
3	ひのし	90年以上前～70年前	—	1	川崎市大山街道ふるさと館
4	たらい	約100年前～60年前	—	1	川崎市市民ミュージアム
5	洗濯板	90年以上前～60年前	—	1	川崎市市民ミュージアム
6	着物	90年以上前～	製造元不明 大正～昭和初期	1	川崎市大山街道ふるさと館
1-2 食					
7	石臼	90年以上前～60年前	—	1	川崎市大山街道ふるさと館
8	鋳物製かまど（写真パネル）	約80年前～50年前	—	1	川崎市市民ミュージアム
9	飯茶碗	90年以上前～	—	1	川崎市市民ミュージアム
10	汁椀	90年以上前～	—	1	川崎市市民ミュージアム
11	箸	90年以上前～	—	1	川崎市市民ミュージアム
12	蠅帳	約100年前～50年前	—	1	川崎市市民ミュージアム
13	しゃもじ	90年以上前～	—	1	川崎市市民ミュージアム
14	飯櫃	90年以上前～50年前	—	1	川崎市大山街道ふるさと館
15	飯櫃入れ	90年以上前～50年前	—	1	川崎市大山街道ふるさと館
16	せいろ	90年以上前～50年前	—	1	川崎市大山街道ふるさと館
17	氷式木製冷蔵庫（写真パネル）	約110年前～50年前	製造元不明 昭和25（1950）年	1	川崎市市民ミュージアム
1-3 住					
18	ちゃぶ台（写真パネル）	約110年前～60年前	—	1	川崎市市民ミュージアム
19	団扇	90年以上前～	—	1	川崎市市民ミュージアム
20	角火鉢（木製）	90年以上前～60年前	—	1	川崎市大山街道ふるさと館
21	五徳	90年以上前～60年前	—	1	川崎市大山街道ふるさと館
22	南部鉄瓶	90年以上前～60年前	—	1	川崎市大山街道ふるさと館
23	ダイヤル式電話機	約95年前～75年前	沖電気株式会社製 昭和2（1927）年～昭和20（1945）年頃	1	川崎市市民ミュージアム
24	ラジオ	約100年前～	—	1	川崎市市民ミュージアム
25	掛時計	90年以上前～50年前	—	1	川崎市市民ミュージアム
26	ハエ取り器	約100年前～70年前	尾張時計株式会社（現尾張精機株式会社）製 大正4（1915）年～昭和20（1945）年	1	川崎市大山街道ふるさと館
27	ハエとりピン	約90年前～50年前	—	1	川崎市市民ミュージアム
第2章 家電の普及と家事の変化（約70年前～50年前／昭和20年代後半～昭和40年代後半）					
2-1 三種の神器					
28	電気洗濯機	約60年前～	ナショナル（現パナソニック）製 製造年不明	1	川崎市市民ミュージアム
29	電気冷蔵庫	約60年前～	日立製 昭和33（1958）年	1	川崎市市民ミュージアム
30	白黒テレビ	約60年前～45年前	—	1	川崎市市民ミュージアム
2-2 衣					
31	足踏みミシン（写真パネル）	約70年前～50年前	服部時計店電機部（現セイコー）製 製造年不明	1	川崎市市民ミュージアム
32	手回しミシン	約70年前～50年前	—	1	川崎市市民ミュージアム 川崎市大山街道ふるさと館
33	電気アイロン	約70年前～	東京芝浦電気（現東芝）製 昭和36（1961）年	1	川崎市市民ミュージアム
34	ワンピース	約100年前～	—	1	川崎市市民ミュージアム
2-3 食					
35	電気炊飯器	約65年前～30年前	東京芝浦電気（現東芝）製 昭和48（1973）年	1	川崎市市民ミュージアム
36	電子レンジ（写真パネル）	約60年前～	東京芝浦電気（現東芝）製 製造年不明	1	川崎市市民ミュージアム
37	電気ジャー	約65年前～35年前	象印マホービン製 製造年不明	1	川崎市市民ミュージアム
38	蒸し器	約60年前～	—	1	川崎市市民ミュージアム
39	コンポートカップ	約60年前～	—	1	川崎市市民ミュージアム
2-4 住					
40	黒電話	約55年前～20年前	日本電信電話公社（現NTT）製 昭和55（1980）年	1	川崎市市民ミュージアム
41	扇風機	約55年前～	—	1	川崎市市民ミュージアム
42	蚊取り線香	約100年前～	—	1	川崎市市民ミュージアム
43	蚊遣り	約100年前～	—	1	川崎市市民ミュージアム

番号	資料名	主な使用年代	製造元・製造年	点数	所蔵
2-5 写真で見る団地の風景					
44	完成近い久末後谷団地 (写真パネル)	約 60 年前	—	1	川崎市市民ミュージアム
45	久末団地 (写真パネル)	約 60 年前	—	1	川崎市市民ミュージアム
46	団地の子どもたち (写真パネル)	約 60 年前	—	1	川崎市市民ミュージアム
第 3 章 便利さを求めて (約 50 年前～ 30 年前／昭和 40 年代後半～平成初頭)					
3-1 衣					
47	二槽式洗濯機 (写真パネル)	約 60 年前～	松下電器産業 (現パナソニック) 製 昭和 60 (1985) 年	1	川崎市市民ミュージアム
48	既製服	約 60 年前～	—	1	個人
49	電動ミシン	約 50 年前～	—	1	個人
50	スチームアイロン	約 60 年前～	東京芝浦電気 (現東芝) 製 製造年不明	1	川崎市市民ミュージアム
3-2 食					
51	電気炊飯ジャー (写真パネル)	約 35 年前～	ホクセイ製 昭和 49 (1974) 年	1	川崎市市民ミュージアム
52	2 ドア冷蔵庫 (写真パネル)	約 50 年前～	日立製 昭和 58 (1983) 年	1	川崎市市民ミュージアム
53	ガラス皿	約 50 年前～	—	1	川崎市市民ミュージアム
54	茶碗	約 50 年前～	—	2	個人
55	カップ	約 50 年前～	—	2	個人
3-3 住					
56	カラーテレビ (写真パネル)	約 25 年前～ 10 年前	ソニー製 平成 9(1997) 年	1	個人
57	ビデオデッキ	約 45 年前～	パナソニック製 平成 17(2005) 年	1	個人
58	ビデオテープ	約 45 年前～	—	1	個人
59	携帯電話	約 35 年前～	—	2	個人
60	ワープロ	約 40 年前～ 25 年前	シャープ製 平成 11(1999) 年	1	個人
61	プリントゴッコ	約 45 年前～ 15 年前	理想科学工業株式会社製 平成 3(1991) 年	1	個人
62	インスタントカメラ	約 30 年前～	ボラロイド製 平成 13 (2001) 年	1	個人
番外編 遊びの今昔					
63	コマ	90 年以上前～	—	7	川崎市大山街道ふるさと館
64	めんこ	約 125 年前～	—	10	川崎市市民ミュージアム
65	すごろく	90 年以上前～	—	1	川崎市市民ミュージアム
66	人形	90 年以上前～	ガブリエル・インダストリーズ製 昭和 50(1975) 年	3	川崎市大山街道ふるさと館
67	お手玉	90 年以上前～	—	1	川崎市市民ミュージアム
68	トランプ	約 70 年前～	—	1	個人
69	ゲームボーイカラー	約 25 年前～	任天堂製 平成 10(1998) 年	2	個人
70	「団地への招待」(18分／カラー作品)	約 60 年前	日経映画社制作 昭和 35 (1960) 年	1	株式会社日経映像
体験コーナー 昔の道具を使ってみよう！					
71	黒電話	—	—	1	川崎市市民ミュージアム
72	そろばん	—	—	3	川崎市市民ミュージアム



救う過去、つなぐ未来 —川崎市市民ミュージアム被災後活動報告展—



会場	①高津区役所 1階 市民ホール ②川崎市役所 第3庁舎1階 ロビー ③中原市民館 1階 ウォールギャラリー ④宮前区役所 2階 市民ホール ⑤麻生市民館 3階 ウォールギャラリー ⑥幸区役所 日吉出張所 タウンホールやまぶき ⑦多摩区役所 1階 アトリウム
会期	① 2022年 8月16日(火)～8月22日(月) ② 2022年10月18日(火)～10月27日(木) ③ 2022年11月 2日(水)～11月10日(木) ④ 2022年11月16日(水)～11月24日(木) ⑤ 2022年12月 2日(金)～12月14日(水) ⑥ 2023年 1月18日(水)～1月26日(木) ⑦ 2023年 1月31日(火)～2月 5日(日)
日数	計54日間
観覧料	無料
主催	川崎市、川崎市市民ミュージアム
※会場に職員が常駐していないため人数はカウントしていない	

本展は昨年東海道のかわさき宿交流館で開催した展示を、市内の各区での巡回展として再構成し、多くの市民に理解と支援を求めることを目的とした。収蔵品の応急処置や修復は未だ道半ばではあるが、広く当館の現状を報告できればと考えた。

A4 チラシ 10,500部



救う過去、つなぐ未来 ―川崎市市民ミュージアム被災後活動報告展―

展示構成

パネルタイトル

ごあいさつ／謝辞

寄付者一覧／寄付のお願い

序章

川崎市市民ミュージアム

第1章 被災直後

被災

地階の被災状況①

地階の被災状況②

地階の被災状況③

第2章 被災収蔵品レスキュー活動

レスキュー活動が始まるまで①

レスキュー活動が始まるまで②

レスキュー活動：歴史分野

レスキュー活動：民俗分野

レスキュー活動：考古分野

レスキュー活動：美術文芸分野

レスキュー活動：グラフィック分野

レスキュー活動：写真分野

レスキュー活動：漫画分野

レスキュー活動：映画・映像分野

第3章 修復と現在の活動

修復：博物館部門①

修復：博物館部門②

修復：美術館部門①

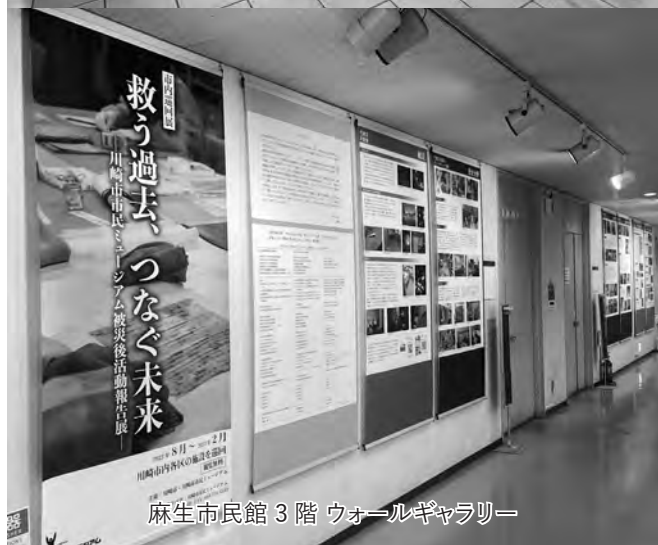
修復：美術館部門②

館内での活動

アウトリーチ活動①

アウトリーチ活動②

※小規模会場の場合はパネルを厳選して展示した



企画展

被災から今、ふたたび ―川崎市市民ミュージアム 修復収蔵品展―



会場	ミューザ川崎シンフォニーホール 企画展示室・研修室 4
会期	2022年9月20日(火)～10月8日(土)
日数	19日間
入場者数	838人
観覧料	無料
主催	川崎市、川崎市市民ミュージアム

川崎市市民ミュージアムは2019年令和元年東日本台風の被災以降、被害を受けた収蔵品の修復を続けている。

Webサイトで連載した「被災収蔵品処置の記録 ―収蔵品を追う―」にて取り上げた作品を中心に、修復が行われ甦った収蔵品の姿を公開した。

被災収蔵品のうち、応急処置を済ませて展示が可能なもの、修復を済ませて展示が可能なものをその経過とともに紹介・展示した。

収蔵品のほか、館内での応急処置や外部修復に使用した道具も展示した。

A4 チラシ 35,000部
B3 ポスター 200部

関連イベント

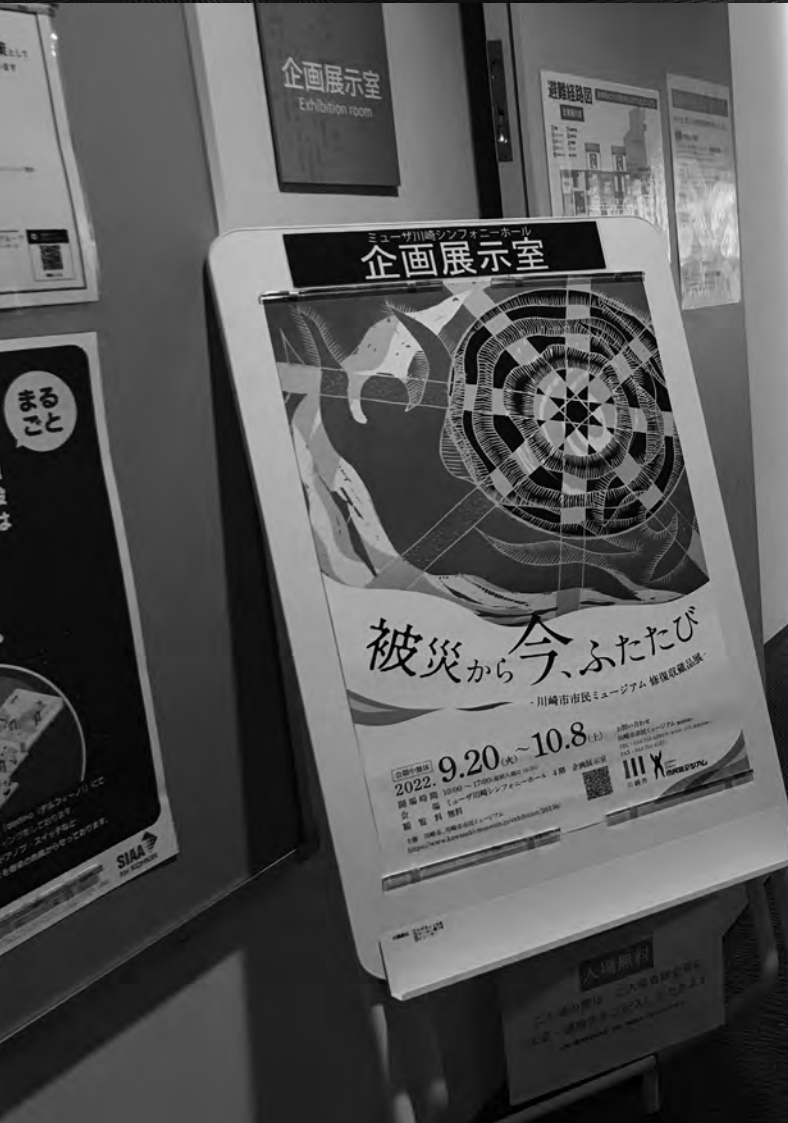
「水損した紙資料の応急処置ワークショップ」

講師 貝塚 建（川崎市市民ミュージアム学芸員）

日時 2022年10月1日(土) ①10:30～12:00 ②14:00～15:30 ※講師体調不良により延期
2023年3月19日(日) ①10:30～12:30 ②14:00～16:00

会場 川崎市生活文化会館てくのかわさき1階 工作実習室

参加者総数 19人



被災から今、ふたたび 川崎市市民ミュージアム 修復収蔵品展— 出品リスト

番号	分野	作品名	作者	点数	技法素材等	サイズ(cm)	制作年	備考
1	美術文芸	宙'88 核への挑戦	斎藤寿一	1	木版	543 × 687		
2	美術文芸	黄色い風	斎藤寿一	1	木版、写真製版による エッチング	407 × 523		
3	美術文芸	風薫る	田中岑	1	油彩	720 × 710		
4	美術文芸	「100歳の画集」より	まどみちお	2	ペン、紙	265 × 360	2009-2010 年	
5	美術文芸	男	麻生三郎	1	油彩、キャンバス	1160 × 908		
6	美術文芸	四つの楕円と長四角	渡辺豊重	1	油彩、キャンバス	1818 × 2273	1987年	
7	グラフィック	画家＝版画家展	ビエール・ボナール	1	リトグラフ	65.3 × 48.2	1896 年	
8	グラフィック	国際サーキット	ジョルジュ・ゴード	1	リトグラフ	60.0 × 90.0	1906 年	三浦コレクション
9	グラフィック	オペレッタ (シェイクスピア!)	ルネ＝ルイ・ペアン	1	リトグラフ	79.3 × 60.4	1899 年	三浦コレクション
10	グラフィック	ビエール博士の歯磨き剤	モーリス・ピラール・ ヴェルヌイユ	1	リトグラフ	81.4 × 52.5	1893 年	
11	グラフィック	オペレッタ「トルコ人」	ジュール・シェレ	1	リトグラフ	73.8 × 56.2	1869 年	三浦コレクション
12	グラフィック	アンバサドールのアリスティード・ ブリュアン	アンリ・ド・トゥールーズ ＝ロートレック	1	リトグラフ	149 × 98.8	1892 年	
13	グラフィック	『チャップ・ブック』誌	ウィリアム・H・ ブラッドリー	1	リトグラフ	50.0 × 33.0	1895 年	
14	グラフィック	フェニックスのミシン	不詳	1	リトグラフ	79.5 × 60.2	1895 年頃	
15	民俗	河童図		1	紙本著色	40 × 40		
16	民俗	豊後肥田水虎の図		1	紙本著色	81.6 × 39.7	江戸時代	
17	民俗	絵馬「神馬」		1		27 × 35		
18	民俗	絵馬「向いめ」		1		22 × 20		
19	民俗	絵馬「女拝み」		1		35 × 26		
20	民俗	絵馬「乳しぼり」		1		24 × 19		
21	民俗	絵馬「向いめ」		1		27 × 33.5		
22	考古	菅生古墓群長沢1822 番地 古墓出土火葬骨蔵器		4	須恵器	(器高)21.5 (口径)13.7 (最大径)25.1	平安時代 (9世紀後半)	
23	漫画	スピード太郎	穴戸左行	4	紙、インク、水彩絵具	37 × 25	1930-1934 年	※
24	漫画	似顔絵 (川端康成)	清水崑	1	紙、墨	40.5 × 26.5		※
25	漫画	似顔絵 (長谷川町子)	清水崑	1	紙、墨	34 × 30		※
26	漫画	かっぱ川太郎	清水崑	1	紙、インク、水彩絵具	52.5 × 32.5		※
27	漫画	おせん	楠勝平	2	紙、インク、スクリーン トーン、他	38.7 × 27	1966 年	※
28	漫画	ゴセの流れ	楠勝平	2	紙、インク、スクリーン トーン、他	34.7 × 25.5	1971 年	※
29	漫画	ネオ体育	横山裕一	3	紙、インク、スクリーン トーン、他	35.5 × 25.7	2004 年	※
30	漫画	京都のピゴ	ジョルジュ・ピゴ	1	油彩、キャンバス			
31	映画	『人情紙風船』美術デザイン 白子屋付近	久保一雄	1	ペン、紙、他	27 × 35.5	1937 年 (公開年)	
32	映画	『ひめゆりの塔』美術デザイン 南風原の丘	久保一雄	1	ペン、紙、他	40 × 53	1953 年 (公開年)	
33	映画	『太陽のない街』オープンセット 平面図略図	久保一雄	1	ペン、紙、他	59 × 116	1954 年 (公開年)	
34	映画	『太陽のない街』美術デザイン 大同印刷工場裏口	久保一雄	1	ペン、紙、他	37 × 54	1954 年 (公開年)	
35	映画	『太陽のない街』美術デザイン 空地広場	久保一雄	1	ペン、紙、他	37 × 55	1954 年 (公開年)	
36	映画	川崎市政ニュース映画 ニュース No.1055「新春の川崎駅 周辺」	神奈川ニュース映画協会 (制作)	1	デジタルデータ	スタンダード	1995 年	映像 (4 作品／約 8 分／ ループ上映)
37	映画	川崎市政ニュース映画 ニュース No.1119「自然とふれあう ー高津区子どもフェアー」	神奈川ニュース映画協会 (制作)	1	デジタルデータ	スタンダード	1997 年	映像 (4 作品／約 8 分／ ループ上映)
38	映画	川崎市政ニュース映画 ニュース No.783「サッカーで姉妹 都市交流」	神奈川ニュース映画協会 (制作)	1	デジタルデータ	スタンダード	1983 年	映像 (4 作品／約 8 分／ ループ上映)
39	映画	川崎市政ニュース映画 ニュース No.1307「開館 1 周年 ミュージアム川崎シンフォニーホール」	神奈川ニュース映画協会 (制作)	1	デジタルデータ	スタンダード	2005 年	映像 (4 作品／約 8 分／ ループ上映)
40	写真	ラブリイ子爵のアルバム「日清戦争」		4	鶏卵紙		1894 年	
41	写真	遣欧使節団、遣仏使節団肖像写 真	ジャック＝フィリップ・ ポト	8	鶏卵紙		1862, 1864 年	
42	歴史	明治四十五年四月川崎馬見場ニ テ飛行セシ奈良原式最初ノ国産 飛行機ノ図解		1	洋紙・印刷	42.0 × 59.4	1912 年	
43	歴史	綱下ケ松参詣絵巻		1	卷子装・紙本著色	56.0 × 330.1 (本紙)	江戸時代	

※印の作品は、2021年の「Bank of America Art Conservation Project」の支援を受けて修復しました



鉄道開業 150 年記念展 川崎鉄道三題噺



会場	東海道かわさき宿交流館 企画展示室ほか
会期	2022 年 10 月 1 日（土）～ 11 月 27 日（日）
日数	50 日間
入場者数	3,870 人
観覧料	無料
主催	川崎市市民ミュージアム
共催	東海道かわさき宿交流館

2022 年は、新橋・横浜間に鉄道が開業して 150 年目であり、本展はそれを記念したものである。東アジアおよび日本初の鉄道である新橋横浜間鉄道、日本初の「電鉄」である京浜電気鉄道、そして「東洋一」の規模を誇った新鶴見操車場という川崎の鉄道に関わる特徴的なトピックを取りあげることで、鉄道における川崎の重要性をアピールした。

A4 チラシ 47,000 部

B3 ポスター 300 部

関連イベント

オンライン史跡巡り 「砂利の多摩川」

講師 高嶋 修一氏（青山学院大学経済学部教授）、鈴木 勇一郎（川崎市市民ミュージアム学芸員）

期間 2022 年 9 月 2 日（金）10：00～2023 年 3 月 31 日（金）16：00 ※ Web サイトで配信

視聴回数 794 回

川崎の鉄道操車場 一今昔めぐりー（オンライン）【昨年度公開の動画を再配信】

講師 高嶋 修一氏（青山学院大学経済学部教授）、鈴木 勇一郎（川崎市市民ミュージアム学芸員）

期間 2022 年 10 月 1 日（土）10：00～12 月 28 日（水）16：00 ※ Web サイトで配信

視聴回数 1,620 回

川崎大師と初期の京浜電気鉄道 【昨年度公開のミュージアム講座動画を再配信】

講師 鈴木 勇一郎（川崎市市民ミュージアム学芸員）

期間 2022 年 10 月 1 日（土）10：00～12 月 28 日（水）16：00 ※ Web サイトで配信

視聴回数 140 回

シンポジウム「鉄道旅行の聖と俗」

講師 平山 昇氏（神奈川大学国際日本学部准教授）、菅沼 明正氏（九州産業大学地域共創学部講師）

鈴木 勇一郎（川崎市市民ミュージアム学芸員）

日時 2022 年 10 月 8 日（土）14：00～16：30

会場 東海道かわさき宿交流館 4 階 集会室

共催 交通史学会

参加者数 35 名

ジオラマ製作ワークショップ

講師・協力 T-Trak Network

日時 【ワークショップ】2022 年 10 月 29 日（土）① 9：45～12：45 ② 13：45～16：45

【公開運転会】2022 年 11 月 5 日（土）、11 月 6 日（日）11：00～15：00

会場 東海道かわさき宿交流館 4 階 集会室

参加者総数 【ワークショップ】17 名

【公開運転会】103 名



鉄道開業 150 年記念展 川崎鉄道三題噺 出品目録

番号	資料名	年代	所蔵・備考
第 1 話 日本最初の鉄道と川崎（1872 年）			
1、鉄道建設と高輪築堤			
1	「新橋横浜間之鉄道之図」	明治 4（1871）年	国立公文書館所蔵 ※
2	「東京蒸気車鉄道一覧之図」	明治 4（1871）年	国立国会図書館所蔵 ※
3	「東京名勝高縄鉄道之図」	明治 4（1871）年	国立国会図書館所蔵 ※
4	工事中の高輪築堤	明治 4（1871）年頃	川崎市市民ミュージアム所蔵 ※
5	高輪築堤発掘現場 1	令和 3（2021）年	— ※
6	高輪築堤発掘現場 2	令和 3（2021）年	— ※
7	新橋停車場	明治 5（1872）年	川崎市市民ミュージアム所蔵 ※
8	鉄道開業式	明治 5（1872）年	川崎市市民ミュージアム所蔵 ※
9	「新橋ステーション蒸気車鉄道図」	明治 8（1875）年	国立国会図書館所蔵 ※
2、六郷川橋梁と川崎			
10	「東海道五十三次 川崎」	文化 7（1810）年頃	川崎市市民ミュージアム所蔵 ※
11	「川崎駅全体之図」	明治 4（1871）年	川崎市市民ミュージアム所蔵
12	「当所玉川最初鉄道橋架設普請場絵図面」	明治 4（1871）年	川崎市市民ミュージアム所蔵 ※
13	「当所玉川最初鉄道橋之図」	明治 5（1872）年	川崎市市民ミュージアム所蔵 ※
14	『汽車誕生 新橋・横浜鉄道開通ものがたり』	昭和 57（1982）年	川崎市市民ミュージアム所蔵
15	「六郷蒸気車鉄道之図」「六合陸蒸気車鉄道之全図」	明治 4（1871）年頃	川崎市市民ミュージアム所蔵 ※
16	「横浜鉄道蒸気車通行之図」	明治 6（1873）年	公益財団法人川崎・砂子の里資料館所蔵
17	「東京横浜名所一覧図絵」	明治 5（1872）年	公益財団法人川崎・砂子の里資料館所蔵
18	旧六郷川鉄橋	令和 4（2022）年	— ※
19	「神奈川川崎ステーション落成ニ付運賃ノ儀伺」	明治 4（1871）年	国立公文書館所蔵 ※
20	川崎停車場写真	明治 34（1901）年	鉄道博物館所蔵 ※
21	「川崎停車場前」	明治 30（1897）年頃	神奈川県立歴史博物館所蔵 ※
22	川崎停車場写真	平成 23（2001）年	『川崎市市民ミュージアム紀要 第 10 集』より ※
23	「川崎大師縁日汽車度数増届」	明治 5（1872）年	国立公文書館所蔵 ※
24	明治時代の川崎停車場前の現状	令和 4（2022）年	— ※
第 2 話 日本最初の「電鉄」京浜電気鉄道（1899 年）			
25	「横浜電車鉄道敷設発起之趣旨」	明治 28（1895）年	川崎市市民ミュージアム所蔵 ※
26	初期の京浜電気鉄道模型	—	川崎市市民ミュージアム所蔵
27	京浜電気鉄道 1 号形模型	—	京浜急行電鉄株式会社所蔵
28	桜のトンネル	明治 30 年代	川崎市市民ミュージアム所蔵 ※
29	「京浜電気鉄道大森大師間全通」	明治 34（1901）年	川崎市市民ミュージアム所蔵
30	京浜電気鉄道株式会社看板	明治～大正時代	川崎市市民ミュージアム所蔵
31	東海道を走る京浜電鉄	大正 14（1925）年頃	東海道かわさき宿交流館所蔵 ※
32	「京浜遊覧地案内図」	明治 37（1904）年	川崎市市民ミュージアム所蔵
33	「京浜間電車全通」	明治 38（1905）年	川崎市市民ミュージアム所蔵
34	「京浜電車回遊切符」	大正 3（1914）年	川崎市市民ミュージアム所蔵
35	「川崎大師平間寺図絵」	大正 7（1918）年	川崎市市民ミュージアム所蔵
第 3 話 「東洋一」の新鶴見操車場（1929 年）			
36	「24 時間ルポ 新鶴見操車場 消えゆく老兵機関車」	昭和 42（1967）年	川崎市市民ミュージアム所蔵
37	「24 時間ルポ 2 上野駅の赤帽さん」	昭和 42（1967）年	川崎市市民ミュージアム所蔵
38	『'70 年代の貨物輸送』	昭和 45（1970）年	菅野泰男氏所蔵
39	『いつでも、なんでも、どこへでも 国鉄コンテナ』	昭和 47（1972）年	菅野泰男氏所蔵
40	『国鉄コンテナ』	昭和 44～48 年ごろ	菅野泰男氏所蔵
41	「工事すすむ武蔵野線」	昭和 46（1971）年	菅野泰男氏所蔵
42	「絵で見る武蔵野線」	昭和 47（1972）年	菅野泰男氏所蔵
43	『武蔵野操車場の自動化』	昭和 49（1974）年	菅野泰男氏所蔵
44	「川崎駅を通過する特急こだま号」	昭和 36（1961）年	菅野泰男氏所蔵 ※
45	「新幹線の開業近し」	昭和 30 年代後半	川崎市市民ミュージアム所蔵 ※
46	「新幹線川崎に入る」	昭和 39（1964）年頃	川崎市市民ミュージアム所蔵 ※
47	「工業都市」	昭和 39（1964）年頃	川崎市市民ミュージアム所蔵 ※
48	「上野行」サボ	昭和戦後期	川崎市市民ミュージアム所蔵
49	「東京—大阪」サボ	昭和戦後期	川崎市市民ミュージアム所蔵
50	「ひかり 21 号」サボ	昭和 39（1964）年頃	菅野泰男氏所蔵
51	「こだま 235 号」サボ	昭和 39（1964）年頃	菅野泰男氏所蔵
52	『鉄道 100 年記念展』	昭和 47（1972）年	菅野泰男氏所蔵
53	『みなみ 82 号』	昭和 47（1972）年	菅野泰男氏所蔵
54	『新幹線だより』	昭和 47（1972）年	菅野泰男氏所蔵
55	100 周年記念列車	昭和 47（1972）年	菅野泰男氏所蔵 ※

番号	資料名	年代	所蔵・備考
新幹線を支えた近代化			
56	「電報取扱駅」	昭和戦後期	菅野泰男氏所蔵
57	『S.H.F 工事完成記念』	昭和 35 (1960) 年	菅野泰男氏所蔵
58	指定席台帳回転テーブル	昭和 35 (1960) 年	菅野泰男氏所蔵 ※
59	『座席予約電子計算装置』	昭和 35 (1960) 年	菅野泰男氏所蔵
60	座席予約電子計算装置	昭和 35 (1960) 年	菅野泰男氏所蔵 ※
61	川崎駅で発行された指定席券①	昭和 43 (1968) 年	菅野泰男氏所蔵
62	川崎駅で発行された指定席券①	昭和 44 (1969) 年	菅野泰男氏所蔵
63	『マルス 105』	昭和 47 (1972) 年	菅野泰男氏所蔵
64	『総合指令所』	昭和 44 (1969) 年	菅野泰男氏所蔵
65	『時差通勤・通学のお願い』	昭和 44 (1969) 年	菅野泰男氏所蔵
66	『第 3 次長期計画のあらまし』	昭和 40 (1965) 年	菅野泰男氏所蔵
67	『建設進む東京外環状線』	昭和 43 (1968) 年	菅野泰男氏所蔵
川崎駅の風景			
68	「駅前風景」	昭和 30 年頃	川崎市市民ミュージアム所蔵 ※
69	「完成近い川崎民衆駅」	昭和 34 (1959) 年	公益財団法人交通協力会所蔵 ※
70	完成した川崎駅駅ビル	昭和 30 年代	川崎市市民ミュージアム所蔵 ※
71	川崎民衆駅完成記念絵画	昭和 34 (1959) 年	東海道かわさき宿交流館所蔵
72	「躍進川崎駅」	昭和 30 年代	川崎市市民ミュージアム所蔵 ※
73	「川崎駅の構内」	昭和 30 年代	川崎市市民ミュージアム所蔵 ※
74	「躍進する川崎の表玄関」	昭和 30 年代	川崎市市民ミュージアム所蔵 ※

※は写真パネルによる展示



the 3rd Area of “C” —3 つめのミュージアム—



Web サイト内の「the 3rd Area of “C” —3 つめのミュージアム—」にて、昨年度に続きオンラインで3つの展覧会を開催した。

今年度は、写真家・原美樹子氏による「kanōn 原 美樹子」、川崎のスポーツの歴史や企業との関わりを紹介した「Cheer! Cheer! Hurray! 川崎のスポーツ史展」、日本画家・近藤恵介氏と、美術家・富井大裕氏による「あっけなく明快な絵画と彫刻、続いているわからない絵画と彫刻」を公開した。

A4 チラシ 22,000 部

【kanōn 原 美樹子】ポストカード 500 部

【あっけなく明快な絵画と彫刻、続いているわからない絵画と彫刻】ポストカード 500 部

kanōn 原 美樹子

会期	2022 年 12 月 20 日（火）10：00 ～ 2023 年 3 月 31 日（金）15：00
日数	102 日間
ページビュー数	4,215 回
観覧料	無料
主催	川崎市市民ミュージアム

中原区在住の写真家、原美樹子を紹介する展覧会。原は自身が日常生活のなかで出合った風景を撮影し、写真作品として発表してきた。古い時代に製造されたフィルムカメラを使用して、多くをノーファインダーで撮影を行うという、その撮影のスタイルを特徴としている。2017 年には第 42 回木村伊兵衛写真賞を受賞し、国内外での活動の場を広げている。

本展では 2021 年春から秋にかけて当館を写した 22 点の撮り下ろし作品を発表するとともに、作家インタビューと学芸員による論考を掲載した。加えて、展示作品を収録した作品集を製作し、オンラインショップで 2 月から販売を開始した。

作品集 100 部



Cheer! Cheer! Hurray! 川崎のスポーツ史展

会期	2023 年 1 月 11 日（水）10：00 ～ 3 月 31 日（金）15：00
日数	80 日間
ページビュー数	1,923 回
観覧料	無料
主催	川崎市市民ミュージアム

本展では、かつての川崎球場と現在に続く等々力緑地の競技場を中心に、それらを有する川崎におけるスポーツの発展を歴史的に概観した。スポーツを、競技をする人だけでなく老若男女が集って応援する文化として捉え、日本の政治史的文脈とはまた異なる、スポーツを通して見る地域史を試みた。当館所蔵の「川崎市写真コンクール」の写真や東京 2020 大会のリレートーチなどの画像に加え、「川崎市映像アーカイブ」の動画も活用し、オンラインの特性を活かした展示となった。



あっけなく明快な絵画と彫刻 続いているわからない絵画と彫刻

会期	2023 年 3 月 1 日 (水) 10 : 00 ~ 4 月 10 日 (月) 15 : 00	追記 4月1日(土) ~ 4月10日(月) のページビュー数 357回 会期通算ページビュー数 1,823回
日数	41 日間	
ページビュー数	1,466 回 (3 月 31 日時点)	
観覧料	無料	
主催	川崎市市民ミュージアム	

近藤恵介と富井大裕、二人の作家によって 2010 年に制作された作品〈あっけない絵画、明快な彫刻〉シリーズがたどった歴史をめぐる展覧会。本作品は、富井の作品をモチーフとして近藤が描いた平面 4 点と、2009 年に近藤が個展で発表した作品を富井が立体化した 4 点の全 8 点で構成されている。2013 年に当館のワークショップにご協力いただいた作家の作品を集めた「シリーズ川崎の美術 響きあうアート」で展示し、2016 年に 7 点が寄贈された。

本展では、被災の痕跡が残る作品と、被災、修復、喪失から作品上で起こってしまった不可逆的な事象を通して、新たに近藤と富井が共作した作品を紹介。共作というかたちではじまった作品群は、石膏を使った 4 点と、平面 2 点、これに〈あっけない絵画、明快な彫刻〉を再構成したものを加えて、全 11 点の作品となった。被災という歴史を経た作品の新たな展開を紹介した。

図録 1,000 部

関連イベント

《近藤恵介・富井大裕トークイベント》
あっけなく明快な絵画と彫刻、続いているわからない絵画と彫刻 について
登壇者 近藤恵介氏、富井大裕氏
日時 2023 年 3 月 5 日 (日) 14 : 00 ~ 15 : 30
会場 川崎市産業振興会館 9 階 第 3 研修室 A
参加者数 17 名

《近藤恵介・富井大裕によるワークショップ》
一枚と一個のかたち
講師 近藤恵介氏、富井大裕氏
日時 2023 年 3 月 18 日 (土) 14 : 00 ~ 16 : 00
会場 川崎市とどろきアリーナ 2 階 研修室 1
参加者数 8 名



kanōn 原 美樹子 作品リスト

番号	作品名	制作年
1~22	Untitled,2021	2021 年

Cheer! Cheer! Hurray! 川崎のスポーツ史展 掲載資料リスト

番号	資料名	年代	所蔵・備考
第 1 章 戦前の川崎とスポーツ			
1-1	神奈川県橘樹郡案内記	1914 年	川崎市立中原図書館所蔵
1-2	はだし足袋	年代不詳	川崎市市民ミュージアム所蔵
1-3	第 5 回体育祭 高津町立実科高等女学校 (現川崎市立高津高等学校)	1932 年頃	出典：『市立高津高校 70 年史』、画像提供：川崎市立高津高等学校
1-4	中原町青年団報第 7 号	1928 年	川崎市立中原図書館所蔵
1-5	中原町青年団報第 7 号	1928 年	川崎市立中原図書館所蔵
1-6	中原町青年団報第 7 号	1928 年	川崎市立中原図書館所蔵
1-7	中原町青年団報第 13 号	1931 年	川崎市立中原図書館所蔵
1-8	体力手帳	1942 年	個人蔵
1-9	体力手帳	1942 年	個人蔵
1-10	体力手帳	1942 年	個人蔵
1-11	体育大会での軍事教練 高津町立実科高等女学校 (現川崎市立高津高等学校)	1933 年	出典：『市立高津高校 70 年史』、画像提供：川崎市立高津高等学校
第 2 章 戦後復興と川崎のスポーツー国民体育大会・オリンピックー			
動画	「国体秋季大会準備すむ」	1955 年	リンク：川崎市映像アーカイブ
動画	「国体に湧く工都」	1955 年	リンク：川崎市映像アーカイブ
2-1	第 10 回国民体育大会記念切手	1955 年	個人蔵
2-2	東京オリンピックポスター	1964 年	川崎市市民ミュージアム所蔵
2-3	東京オリンピック寄附金付き切手	1961 年	個人蔵
2-4	東京オリンピック記念切手	1964 年	川崎市市民ミュージアム所蔵
第 3 章 川崎の工業化とプロ野球			
3-1	目論見書	1951 年	神奈川県立川崎図書館所蔵
3-2	目論見書	1951 年	神奈川県立川崎図書館所蔵
3-3	目論見書	1951 年	神奈川県立川崎図書館所蔵
3-4	川崎球場でのナイトゲーム	1956 年	出典：『川崎市商工大観』
3-5	日本シリーズ 第 1・2 戦チケット 表	1960 年	公益財団法人野球殿堂博物館所蔵
3-6	日本シリーズ 第 1・2 戦チケット 裏	1960 年	公益財団法人野球殿堂博物館所蔵
3-7	大洋ホエールズ 小型球団旗	年代不詳	公益財団法人野球殿堂博物館所蔵
3-8	ポスター「日本シリーズ 大洋対大毎」	1960 年	公益財団法人野球殿堂博物館所蔵
3-9	大洋ホエールズ優勝記念風呂敷《包み》	1960 年	個人蔵
3-10	大洋ホエールズ優勝記念風呂敷《本体》	1960 年	個人蔵
3-11	川崎球場（川崎区）	1962 年	川崎市市民ミュージアム所蔵
3-12	バックに「KAWASAKI」の文字が入ったユニフォーム	年代不詳	画像提供：株式会社ベースボール・マガジン社
3-13	湘南カラーのユニフォーム	年代不詳	画像提供：株式会社ベースボール・マガジン社
3-14	王貞治選手 700 号ホームラン記念プレート	1976 年	富士通スタジアム川崎所蔵
3-15	現在も残る外野フェンス	2022 年	ー
3-16	現在も残る外野フェンス	2022 年	ー
3-17	川崎球場（川崎区）	1969 年	川崎市市民ミュージアム所蔵
3-18	応援団ジャケット（表）	年代不詳	横浜 DeNA ベイスターズ所蔵
3-19	応援団ジャケット（裏）	年代不詳	横浜 DeNA ベイスターズ所蔵
3-20	応援団法被（表）	年代不詳	横浜 DeNA ベイスターズ所蔵
3-21	応援団法被（裏）	年代不詳	横浜 DeNA ベイスターズ所蔵
3-22	応援団旗	年代不詳	横浜 DeNA ベイスターズ所蔵
3-23	大洋ホエールズ川崎後援会のぼり	年代不詳	横浜 DeNA ベイスターズ所蔵
3-24	ロッテオリオンズ優勝祈願、川崎大師、1 月 11 日（川崎区）	1978 年	川崎市市民ミュージアム所蔵
動画	「ようこそロッテオリオンズ」	1978 年	リンク：川崎市映像アーカイブ
動画	「市民球団ロッテ前期優勝」	1981 年	リンク：川崎市映像アーカイブ
3-25	客足もまばらな川崎球場	年代不詳	画像提供：株式会社ベースボール・マガジン社
3-26	この時点ではまだ空席もあった 10 月 19 日第 1 試合	1988 年	画像提供：株式会社ベースボール・マガジン社
動画	「生まれ変わった川崎球場」	1991 年	リンク：川崎市映像アーカイブ
3-27	人工芝となった川崎球場	1991 年	画像提供：株式会社ベースボール・マガジン社
3-28	テレビじゃ見れない川崎劇場。	1991 年	千葉ロッテマリーンズ所蔵

番号	資料名	年代	所蔵・備考
3-29	雨天のラストゲーム	1991 年	画像提供：株式会社ベースボール・マガジン社
3-30	ありがとう川崎劇場	1991 年	画像提供：株式会社ベースボール・マガジン社
3-31	現在の富士通スタジアム川崎	2022 年	—
3-32	まもなく取り壊しとなる富士通スタジアム川崎の照明塔	2022 年	—
第 4 章 平成の川崎とスポーツ			
4-1	等々力緑地公園	1975 年	川崎市市民ミュージアム所蔵
動画	「川崎散歩 等々力緑地とその周辺」	1969 年	リンク：川崎市映像アーカイブ
4-2	等々力緑地公園	年代不詳	川崎市市民ミュージアム所蔵
4-3	鷺沼市営プールにて	年代不詳	川崎市市民ミュージアム所蔵
4-4	等々力陸上競技場	1970 年	川崎市市民ミュージアム所蔵
4-5	等々力陸上競技場	1973 年	川崎市市民ミュージアム所蔵
4-6	等々力陸上競技場のパンフレット	1993 年	川崎市立中原図書館所蔵
動画	「ナイター設備を充実 一等々力陸上競技場」	1993 年	リンク：川崎市映像アーカイブ
動画	「ヴェルディ川崎 初代チャンピオンに」	1994 年	リンク：川崎市映像アーカイブ
動画	「装い新たに！ 一等々力陸上競技場」	1995 年	リンク：川崎市映像アーカイブ
4-7	2007 年 W 杯で活躍する米山晃嗣選手（当時富士通所属）	2007 年	出典：『誇りの記録』、画像提供：日本アメリカンフットボール協会
4-8	川崎市役所本庁舎に登場したアメリカンフットボール選手の巨大バルーン	2007 年	画像提供：日本アメリカンフットボール協会
動画	「アメリカンフットボール W 杯に向けてカウントダウン！」	2007 年	リンク：川崎市映像アーカイブ
動画	「第 3 回アメリカンフットボールワールドカップ 2007 川崎国際大会」	2007 年	リンク：川崎市映像アーカイブ
4-9	オープン記念式典	1995 年	出典：『とどろきアリーナ開館 10 周年記念誌』、川崎市立中原図書館所蔵
動画	「とどろきアリーナオープン」	1995 年	リンク：川崎市映像アーカイブ
4-10	大相撲川崎場所	1996 年	出典：『とどろきアリーナ開館 10 周年記念誌』、川崎市立中原図書館所蔵
4-11	とどろきアリーナ正面入口	2022 年	—
4-12	かながわ・ゆめ国体記念切手	1998 年	個人蔵
第 5 章 21 世紀「スポーツのまち・かわさき」			
5-1	1991 年ごろの富士通サッカー部	1991 年	出典：『富士通サッカー部後援会会報』、画像提供：富士通株式会社
5-2	川崎フロンターレ発足当時	1997 年	画像提供：川崎フロンターレ
5-3	等々力競技場エントランス	—	画像提供：川崎フロンターレ
5-4	J 1 初優勝	2017 年	画像提供：川崎フロンターレ
5-5	2017 年 J1 優勝時に製作された檜の「フロ桶」（内側）	2017 年	画像提供：川崎フロンターレ
5-6	2017 年 J1 優勝時に製作された檜の「フロ桶」（外側底面）。優勝シャレがデザインされている。	2017 年	画像提供：川崎フロンターレ
5-7	優勝セレモニー、フロ桶とともに。	2017 年	画像提供：川崎フロンターレ
5-8	等々力競技場メインスタンド	—	画像提供：川崎フロンターレ
5-9	紅白試合の後で	1956 年	出典：『小向工場 50 年史』、画像提供：東芝未来科学館
5-10	練習風景	1959 年	出典：『小向工場 50 年史』、画像提供：東芝未来科学館
5-11	プレイビー	2018 年	画像提供：川崎ブレイブサンダース
5-12	井上雄彦・画「ニック・ファジーカス」	2018 年	画像提供：I.T.Planning,Inc.
5-13	試合前の会場	2022 年	画像提供：川崎ブレイブサンダース
5-14	ロウル	2022 年	画像提供：川崎ブレイブサンダース
5-15	試合日のアリーナ周辺	2022 年	画像提供：川崎ブレイブサンダース
5-16	2022-23 シーズンユニフォーム（藤井祐真選手）	2022 年	画像提供：川崎ブレイブサンダース
5-17	川崎ブレイブサンダースロゴマーク	2022 年	画像提供：川崎ブレイブサンダース
5-18	完成直後の玉川向工場	1936 年	出典：『日本電気株式会社百年史』、画像提供：日本電気株式会社
5-19	全日電球技大会での女子バレーボール	1975 年	出典：『日本電気株式会社百年史』、画像提供：日本電気株式会社
5-20	NEC レッドロケッツエンブレム	2022 年	画像提供：NEC レッドロケッツ
5-21	試合で活躍する古賀紗理那選手	2022 年	画像提供：NEC レッドロケッツ
5-22	試合の様子	2021 年	画像提供：NEC レッドロケッツ
5-23	マスコットのスティーム	2022 年	画像提供：NEC レッドロケッツ
5-24	戦後の小向工場	1963 年	出典：『東京芝浦電気株式会社八十五年史』、画像提供：東芝未来科学館
5-25	1977 年頃の東芝野球部	1977 年	出典：『東芝百年史』、画像提供：東芝未来科学館
5-26	チームマスコット「アレウス」	2022 年	画像提供：東芝ブレイブアレウス
5-27	チームロゴ	2022 年	画像提供：東芝ブレイブアレウス
5-28	試合で活躍する選手（善武士投手）	—	写真：アフロススポーツ
5-29	試合で活躍する選手（石川桜太選手）	—	写真：アフロススポーツ
5-30	試合で活躍する選手（中村浩人捕手）	—	写真：アフロススポーツ
5-31	試合で活躍する選手（藤村哲之投手）	—	写真：アフロススポーツ
5-32	試合で活躍する選手（田中達朗内野手）	—	写真：アフロススポーツ
5-33	富士通信機製造創業時の社屋	1935 年	出典：『富士通 50 年のあゆみ（昭和 50 年～ 60 年）』、画像提供：富士通株式会社

番号	資料名	年代	所蔵・備考
5-34	竣工した川崎工場	1935 年	出典：『社史Ⅲ（昭和 50 年～ 60 年）』、画像提供：富士通株式会社
5-35	1985 年頃の富士通川崎工場	1985 年	出典：『社史Ⅲ（昭和 50 年～ 60 年）』、画像提供：富士通株式会社
5-36	2007 年 W 杯で活躍する米山晃嗣選手（当時富士通所属）	2007 年	画像提供：日本アメリカンフットボール協会
5-37	試合の様子	2022 年	画像提供：富士通フロンティアーズ
5-38	現在のユニフォーム	2022 年	画像提供：富士通フロンティアーズ
5-39	チームマスコット「フロンティア」	2022 年	画像提供：富士通フロンティアーズ
5-40	富士通フロンティアーズチームロゴ	2022 年	画像提供：富士通フロンティアーズ
5-41	富士通フロンティアーズ 趙翔来選手	2022 年	画像提供：富士通フロンティアーズ
5-42	試合で活躍する内尾聡菜選手	2022 年	画像提供：富士通レッドウェーブ
5-43	チームマスコット「レッディ」	2022 年	画像提供：富士通レッドウェーブ
5-44	富士通レッドウェーブエンブレム	2022 年	画像提供：富士通レッドウェーブ
5-45	2022 年 10 月に川崎市立中原図書館で開催された「とどろきアリーナで地元チームを応援しよう！」での展示	2022 年	画像提供：川崎市立中原図書館
5-46	東京 2020 オリンピック 聖火リレートーチ	2021 年	川崎市市民ミュージアム所蔵
5-47	東京 2020 オリンピック 聖火リレーユニフォーム	2021 年	川崎市市民ミュージアム所蔵
5-48	東京 2020 オリンピック 聖火リレーユニフォーム	2021 年	川崎市市民ミュージアム所蔵
5-49	東京 2020 パラリンピック 聖火リレートーチ	2021 年	川崎市市民ミュージアム所蔵
5-50	東京 2020 パラリンピック 聖火リレートーチ	2021 年	川崎市市民ミュージアム所蔵
5-51	東京 2020 パラリンピック 聖火リレートーチ	2021 年	川崎市市民ミュージアム所蔵
5-52	等々力陸上競技場で棒高跳びの練習を行う選手	2021 年	出典：『東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会—英国代表チーム事前キャンプ受入れ全記録—』
5-53	陸上競技 200mT61 出場、リチャード・ホワイトヘッド選手	2021 年	出典：『東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会—英国代表チーム事前キャンプ受入れ全記録—』

あっけなく明快な絵画と彫刻 続いているわからない絵画と彫刻 掲載写真リスト

番号	画像名（3～13 は掲載作品名）	制作年	作者	撮影者
1	展示室全景	—	—	柳場大
2	展示室全景	—	—	柳場大
3	《私たちとその状況（空き地）》《かたまりと紙片（斜面のある）》 《かたまりと紙片（複雑な）》《かたまりと紙片（立ち上がる）》	2022 年	近藤恵介、富井大裕	柳場大
4	《かたまりと紙片（斜面のある）》《かたまりと紙片（複雑な）》 《かたまりと紙片（立ち上がる）》	2022 年	近藤恵介、富井大裕	柳場大
5	《私たちとその状況（空き地）》	2022 年	近藤恵介、富井大裕	柳場大
6	《私とその状況（あっけない絵画、明快な彫刻）》《余白と静物（積み重ね）》 《余白と静物（光を分け与える）》《余白と静物（タテとヨコ）》	2023 年、 2019 年	近藤恵介、富井大裕	柳場大
7	《余白と静物（積み重ね）》《余白と静物（光を分け与える）》 《余白と静物（タテとヨコ）》	2019 年	近藤恵介、富井大裕	柳場大
8	《私とその状況（あっけない絵画、明快な彫刻）》	2023 年	近藤恵介、富井大裕	柳場大
9	《かたまりと紙片（続いているわからない絵画と彫刻）》 《私たちとその状況（続いているわからない絵画と彫刻）》	2022 年	近藤恵介、富井大裕	柳場大
10	〃	〃	〃	〃
11	《余白と静物（roll）》	2010 年、 2022 年 （再制作）	近藤恵介、富井大裕	柳場大
12	〃	〃	〃	〃
13	〃	〃	〃	〃
14	展示室（部分）	—	—	柳場大
15	展示室全景	—	—	柳場大



企画展

第 56 回 かわさき市美術展



会場	ミューザ川崎シンフォニーホール 企画展示室・研修室 4
会期	2023 年 2 月 23 日 (木・祝) ～ 3 月 11 日 (土) 入選作品展 (全部門) …2 月 23 日 (木・祝) ～ 3 月 1 日 (水) 入賞作品展 (全部門) …3 月 3 日 (金) ～ 3 月 11 日 (土)
日数	16 日間
入場者数	1,712 人
観覧料	無料
主催	川崎市
後援	川崎市教育委員会、かわさき FM (79.1MHz)
協賛	川崎信用金庫、セシサ川崎農業協同組合 (50 音順)

かわさき市美術展は、昭和 42 (1967) 年から行われている、川崎市の芸術文化活動の振興を目的とした展覧会である。本展では、川崎市に在住・在勤・在学、あるいは市内で制作活動をしている人々を対象に全 6 部門 (①平面部門、②彫刻・立体造形、③工芸、④書、⑤写真、⑥中高生) を募集し、合計 351 点の応募があった。

審査の結果、最優秀賞に松尾雅子氏の《鰯(うつぼ)》、中高生を対象としたコミュゼ川崎大賞に谷口百華氏の《自分の生きる人生を愛せ》など、入選・入賞作品計 123 点を選出し、会期を 2 期に分けて展示を行った。

応募者数 273 名／応募作品数 351 点／入賞・入選者数 120 名／入賞・入選作品数 123 点
市民賞 6 点 ※入選作品から部門ごとに出選

【募集要項】 A4 (A3 二つ折り) チラシ 30,000 部 B3 ポスター 300 部
【作 品 展】 A4 チラシ 30,000 部 はがき 3,000 部 B3 ポスター 300 部
【作 品 集】 2,000 部

関連イベント

オンラインセミナー「拓本の魅力」

講師 日野 楠雄氏 (書芸術 拓本・文房四宝研究)

期間 2022 年 11 月 1 日 (火) 10:00 ～ 2023 年 3 月 31 日 (金) 16:00 ※ Web サイトで配信

視聴回数 340 回

オンラインセミナー「古代文字ってなんだろう」

講師 日野 楠雄氏 (書芸術 拓本・文房四宝研究)

期間 2022 年 11 月 1 日 (火) 10:00 ～ 2023 年 3 月 31 日 (金) 16:00 ※ Web サイトで配信

視聴回数 247 回

講評会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、作品展会場内では実施せず、書面配布に代えた。

表彰式

日時 3月4日(土) 14:00

※3月13日(月) 17:00～3月31日(金) 16:00の期間、Web サイトで動画を配信

会場 ミューザ川崎シンフォニーホール 研修室

参加人数 50名(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、入賞者・関係者のみで開催した)



最優秀賞
松尾 雅子《鰻(うづぼ)》



コミュゼ川崎大賞
谷口 百華《自分の生きる人生を愛せ》



第 56 回 かわさき市美術展 入賞・入選作品一覧

賞	部門 1	部門 2	タイトル	制作者名
■入賞				
最優秀賞	一般	工芸	鯉（うつぼ）	松尾 雅子
コミュゼ川崎大賞	中高生	書	自分の生きる人生を愛せ	川崎市立川崎高等学校 谷口 百華
優秀賞	一般	平面	生まれた時点で王宮の外で時間を過ごすものたち	多摩美術大学 辻 純
優秀賞	一般	彫刻・立体造形	巻時少暖	佐藤 雅孝
優秀賞	一般	書	後撰和歌集のうた	村上 裕
優秀賞	一般	写真	シルエット	鳴海 廣治
奨励賞	一般	平面	ゾン日和ーカワサキ編ー	デヒミフカオ
奨励賞	一般	平面	休憩	大楯 和美
奨励賞	一般	彫刻・立体造形	The stomachache lovers	おかもと めぐみ
奨励賞	一般	工芸	composition-stillness	内山 あさ子
奨励賞	一般	工芸	HANA	福田 典子
奨励賞	一般	書	米芾 蜀素帖	木川 智広
奨励賞	一般	写真	Ghost of a chance	高木 尚
奨励賞	一般	写真	ビーチにて	菅原 桂子
審査員特別賞	一般	平面	家族の時間「猫に救われる」氏」	稲垣 博
審査員特別賞	一般	平面	タローの散歩道	岡本 倭季
審査員特別賞	一般	平面	Explosion	鈴木 一光
審査員特別賞	一般	平面	雪ふる中原市民館前	瀬田 哲彦
審査員特別賞	一般	平面	まばたき	ナガタコウタロウ
審査員特別賞	一般	平面	高台の教会	吉野 すみ子
審査員特別賞	一般	平面	いのち	千葉 純子
審査員特別賞	一般	平面	蓮（れん）	鈴木 紀久栄
審査員特別賞	一般	彫刻・立体造形	慟哭〜ひび割れ血を流し沈み行く地球に〜	望月 雅文
審査員特別賞	一般	工芸	白龍黒龍赤龍	大原 弘美
審査員特別賞	一般	工芸	朝を待つ	篠原 利江
審査員特別賞	一般	工芸	宇宙生命	砂田 紘子
審査員特別賞	一般	工芸	こころ NO.2	古家 郁子
審査員特別賞	一般	書	枕草子抄	大阿久 道子
審査員特別賞	一般	書	葦辺ゆく 万葉集 志貴皇子御作歌	木下 清華
審査員特別賞	一般	書	老人の独り言（何故なぜなんだ）	坂本 守
審査員特別賞	一般	書	金文による唐詩（「秋日別王長史」王勃）	田代 翔溪
審査員特別賞	一般	写真	二ヶ領用水の春	taka_maru
審査員特別賞	一般	写真	苔輝く	田島 仁
審査員特別賞	一般	写真	地上に舞い降りた星たち	牧山 俊雄
審査員特別賞	一般	写真	すやすや	Y.Li
優秀賞	中高生	平面	自由	川崎市立幸高等学校 五十嵐 朱音
優秀賞	中高生	彫刻・立体造形	日本のカエル	田中 潤
優秀賞	中高生	平面	死というものが祝福ならば、辛い人生より死を選ぶ	松本 桂吾
優秀賞	中高生	書	道	横浜共立学園高等学校 溝田 鈴
優秀賞	中高生	平面	喰わんと生きてけないのさ。	鈴木 彩恵
■入選				
市民賞	一般	平面	あったかいね	渥美 貴文
	一般	平面	蜘蛛の糸	伊藤 倫香
	一般	平面	家族の時間「小鳩を救う K 氏」	稲垣 博
	一般	平面	祈念坂	岩田 万喜子
	一般	平面	里山の小径	梅村 鎮男
	一般	平面	カリカチュア「岡本太郎」	黒沢 進士
	一般	平面	Bird Sanctuary	河内 美佐樹
	一般	平面	向ヶ丘遊園の行きつけ	小林 はるか
	一般	平面	海の黄金率	菅原 奈々菜
	一般	平面	mind face・232	野口 貴子
	一般	平面	in my mind・7	野口 貴子
	一般	平面	あさがお	鈴木 久子
	一般	平面	雪の陽	園田 美保子
	一般	平面	赤レンガの思い出	瀧口 正
	一般	平面	ビーナスベルトの街	香山 幸子
	一般	平面	目で見える愛の視界	寺村 豪真
	一般	平面	自画像	永井 武志
	一般	平面	景 2023-1	青山 美穂
	一般	平面	夜の花	青井 さとみ
	一般	平面	コロナ禍で癒される遊園地のイルミネーション	久田 恵子
	一般	平面	記憶	廣木 太一
	一般	平面	ブリュゲルの描いた教会にて	間宮 芳子
	一般	平面	夢枕に立つ	水落 彩
	一般	平面	希う	藤本 弘太
	一般	平面	紫の夢	茂木 治代
	一般	平面	景	森田 隆
	一般	平面	早春奄美の山	森山 暁
	一般	平面	カラー	安田 弥生

賞	部門 1	部門 2	タイトル	制作者名
市民賞	一般	平面	初雪カズラの共演	柳北 勲
	一般	平面	絶滅- II	高橋 章
	一般	平面	明けゆく	帛谷 孝子
	一般	平面	そう・思イ・想ウ・・・	島津 乃州江
	一般	平面	雨音	渡辺 恵
	一般	平面	フォスフォレッセンス	岩永 史郎
	一般	平面	部屋に座る自画像	岩永 史郎
	一般	平面	浮遊	三原 すず子
	一般	彫刻・立体造形	増殖	市村 秀三
	一般	彫刻・立体造形	女人菩薩・聖観音立像	梶原 瑞康
市民賞	一般	彫刻・立体造形	1984 年のヤリ貝	吉澤 正和
	一般	彫刻・立体造形	響き	RiKa.
	一般	工芸	Energy bowl	岩下 はるみ
	一般	工芸	グラスリッツェン プレート	遠藤 和恵
	一般	工芸	紅志野大皿「雪月」	大田 温子
	一般	工芸	青川瀬	柏倉 美由喜
	一般	工芸	星雲	木村 八重子
	一般	工芸	捕獲 (パーテーション)	菅原 行男
	一般	工芸	ささえ	堀 知賀子
	一般	工芸	花器ブルー・セブン	御園 健二
市民賞	一般	工芸	怒りの雫	家才子 雅樹
	一般	工芸	こもれば	増田 奈津
	一般	書	幸せのヒント 高山樗牛作	井上 麻美
	一般	書	篆刻峰嵐	峰嵐
	一般	書	照于一隅	小澤 慶剛
	一般	書	半切行書	立木 佳幸
	一般	書	聲歎に接す	田辺 談窓
	一般	書	百人一首 猿丸太夫	吉村 照子
	一般	書	臨・西狭頌	吉村 正機 (抱山)
	一般	写真	青空のように	井上 圭一郎
市民賞	一般	写真	眠れぬ夜	小関 新
	一般	写真	黄昏の駅	川崎市立有馬中学校 加納 良英
	一般	写真	Utopia	武蔵野美術大学 高木 理子
	一般	写真	矢上川にハイタカ現る	中野 栄
	一般	写真	ドッグマジック・・・耳はどこに行った？	野上 悦男
	一般	写真	untitled	福田 一幸
	一般	写真	藹々	楠見 琢美
	中高生	平面	～な私	安達 結良
	中高生	平面	カラカラの石膏	法政大学第二高等学校 鷗澤 百華
	中高生	書	蘭亭序 臨書	NHK 学園高等学校 江口 晴香
市民賞	中高生	平面	マイワールド	菊池 優那
	中高生	書	臨書 蜀素帖	川崎市立川崎高等学校 小佐野 円花
	中高生	平面	8:50 救済拒否	小林 優
	中高生	書	太平	川崎市立川崎高等学校 佐伯 菜那子
	中高生	写真	夕空に耽る	私立鶴沼高校 坪井 慶斗
	中高生	平面	愛犬	神奈川県立生田高等学校 寺西 朱音
	中高生	平面	卵の運命	鶴見大学附属高校 健勇 道紹
	中高生	彫刻・立体造形	私達の手でこの地球を守りたい	野川中学校 特別支援級
	中高生	平面	植物	吉川 環
	中高生	平面	交差	渡邊 凧
市民賞	中高生	平面	楽しさと明るさがつまったコリウス	藁谷 賢也
	中高生	彫刻・立体造形	昭和の思い出	丸 稀美
	中高生	平面	台湾	鎌倉 あやね
	中高生	平面	白糠の牧場	神奈川県立城郷高等学校 石原 陸郎
	中高生	平面	見返り鳥	東峯 芽衣



『河 あの裏切りが重く』デジタル修復版 35mm フィルムプレミア上映会



会場	多摩市民館 大ホール
会期	2022年9月2日（金）18：30～20：15
日数	1日間
来場者数	199名
観覧料	無料
主催	川崎市市民ミュージアム
協力	森弘太、国立映画アーカイブ、広島市映像文化ライブラリー 株式会社 IMAGICA エンタテインメントメディアサービス
技術協力	有限会社鈴木映画
広報協力	「映像のまち・かわさき」推進フォーラム

令和元年東日本台風により被災した森弘太監督作品『河 あの裏切りが重く』を「フィルムレコーディング¹」で修復し、完成した35mmフィルムニュープリント²のプレミア上映会を開催した。これまでの応急処置から修復までのレスキュー活動を通じて、ニュープリントとして蘇った貴重な収蔵品をいち早く川崎市民に公開するため、市内の多摩市民館を会場とした。戦後の広島の被爆者を題材にした本作を他施設で所蔵しているのは広島市映像文化ライブラリーのみであり、映像ソフトは販売されていないため、関東での上映は非常に貴重な機会となった。

1 フィルムレコーディング：デジタル上で映像を修復し、再びフィルムに焼き付ける技術

2 ニュープリント：新しく現像されたフィルム

※一般財団法人長瀬映像文化財団の一部助成により修復を行った。

※新型コロナウイルス感染症対策として、十分な間隔を空けてご鑑賞いただけるよう事前申込制とし、席数を最大200席と限定して実施した。

A4 チラシ 43,000部

B3 ポスター 200部

来場者用リーフレット 300部

上映作品

『河 あの裏切りが重く』デジタル修復版

（1967年／モノクロ／35mmフィルム上映／103分／製作・監督・脚本：森弘太）



川崎市市民ミュージアム出張 タヤけ上映会



会場	等々力緑地 催し物広場
会期	2022年9月17日(土) 18:20～19:40
日数	1日間
来場者数	187名
観覧料	一般 600円 / 高校生以下 400円 (未就学児、障害者手帳等をお持ちの方は無料)
主催	川崎市市民ミュージアム
協力	国立映画アーカイブ
技術協力	株式会社東真トリニティー、有限会社鈴木映画
広報協力	「映像のまち・かわさき」推進フォーラム

昨年度に引き続き等々力緑地内の催し物広場に仮設スクリーンと座席を設置し、1日限定の野外上映会を実施した。川崎市にゆかりの深い藤子不二雄[Ⓐ]氏原作の作品から、1981～1987年にテレビで放映された、代表作『忍者ハットリくん』を上映したほか、「川崎市政ニュース映画」の一部を上映した。

※新型コロナウイルス感染症対策として事前申込制とし、席数を最大200席と限定して実施した。

A4 チラシ 46,000部

B3 ポスター 200部

来場者用リーフレット 300部

来場者用ノベルティ（『忍者ハットリくん』缶バッジ） 300個

上映作品

「川崎市政ニュース映画」（デジタル上映／計5作品）

- ニュース No.145 『伸びる市民の足』（1957年／モノクロ／1分）
- ニュース No.759 『多摩川のはぜ』（1982年／カラー／2分）
- ニュース No.761 『お月見のだんご作り ー川崎市立日本民家園ー』（1982年／カラー／2分）
- ニュース No.179 『生れかわる農村』（1958年／モノクロ／1分）
- ニュース No.1185 『等々力緑地は花と緑がいっぱい』（2000年／カラー／2分）

『忍者ハットリくん』デジタルリマスター版（1981年／カラー／デジタル上映／計10作品、約70分）

- 第一話 「拙者！忍者でござるの巻」
- 第二話 「おのれ憎っき先生の巻」
- 第四三話 「ニンニンとたえるが忍者でござるの巻」
- 第五五話 「カエルは苦手でござるの巻」
- 第七五話 「忍法ころがわりの巻」
- 第九四話 「シシ丸だぬきのはらつづみの巻」
- 第一一三話 「映画はこりごりでござるの巻」
- 第一一八話 「獅子丸のいびきは100ホーンの巻」
- 第一三四話 「トマト・ニンジン大好き巻」
- 第一四二話 「ただのラーメンはこわいでござるの巻」



陸前高田市立博物館新館開館記念特別展 未来への約束～博物館が守り伝えるふるさとのたからものたち～

会場 名古屋市博物館 3階 ギャラリー1
会期 2023年2月23日（木・祝）～3月12日（日）
日数 15日間
入場者数 881人
観覧料 無料
主催 東北発 博物館・文化財等防災力向上プロジェクト実行委員会、名古屋市博物館
※上記実行委員会のメンバーとして川崎市市民ミュージアムも参加した

川崎市市民ミュージアム（神奈川県）、岩手県立博物館（岩手県）、陸前高田市立博物館（岩手県）、長野市立博物館（長野県）において協力し、被災からよみがえった資料とともに、各地で続けられる文化財再生の取り組みを紹介した。

また、2022年11月から2023年1月にかけて陸前高田市立博物館新館で開催された開館記念特別展を、友好館である名古屋市博物館において、東日本大震災後12年分の感謝を込めて再現した。

本展示会は、自分が暮らす地域の“たからもの”の価値や、自然災害への備えの必要性について見つめなおす一つのきっかけになることを目指して開催した。

関連イベント

展示解説会

講師 谷 拓馬（川崎市市民ミュージアム学芸員）、原田 和彦氏（長野市立博物館学芸員）、目時 和哉氏（岩手県立博物館学芸員）、熊谷 賢氏（陸前高田市立博物館学芸員）、浅川 甲子氏（陸前高田市立博物館元学芸員）

日時 2023年3月11日（土）14：00～

会場 名古屋市博物館 1階 展示説明室

参加者総数 50人

「未来への約束～博物館が守り伝えるふるさとのたからものたち～」

展示構成

- 1 震災前の博物館
- 2 “博物館が被災する”とは
- 3 文化財レスキュー
- 4 よみがえったふるさとのたからもの
よみがえった高田歌舞伎
よみがえった高田松原
いのちの海
海を越える絆
- 5 川崎市市民ミュージアムの挑戦
- 6 長野市立博物館市民ボランティアの挑戦
- 7 未来への約束



川崎市市民ミュージアム 出品資料

番号	資料名	点数	サイズ (cm)
1	「化物絵巻」	1	全 952.0 絵 845.2×38.4
2	「河童図」	1	40×40
3	絵馬「神馬」	1	27×35
4	絵馬「乳しぼり」	1	24×19
5	絵馬「向いめ」	1	27×33.5
6	「明治四十五年四月川崎馬見場ニテ飛行 セシ奈良原式最初ノ国産飛行機ノ図解」	1	47.2×68.2



あっけなく明快な絵画と彫刻、続いているわからない絵画と彫刻

会場 LOKO GALLERY
会期 2023年3月9日（木）～4月9日（日）
日数 24日間
観覧料 無料
主催 LOKO GALLERY
共催 川崎市市民ミュージアム

川崎市市民ミュージアムのWebサイト（the 3rd Area of “C”―3つめのミュージアム―）で3月1日（水）から4月10日（月）まで開催の展覧会「あっけなく明快な絵画と彫刻、続いているわからない絵画と彫刻」で紹介した作品の実物をギャラリーで展示した。

はがき 3,000部

関連イベント

オープニングレセプション

日時 2023年3月9日（木）18:00～20:00
会場 LOKO GALLERY



教育普及



教育普及

学校や地域との連携を図るとともに、市民ミュージアムを身近に感じ活用してもらえよう事業を展開する。

(1)市民ミュージアムの活動に対する関心を広く呼び起こす事業

市民に開かれた生涯学習及び知的交流の場として、講座やセミナー、ワークショップ、史跡見学等の活動を実施することで、川崎の歴史や文化芸術などを学ぶ機会を創出し市民の文化活動を支援している。

	事業名	講座名	回数	場所	日程	参加人数
博物館 プログラム	史跡めぐり	夢見ヶ崎 紅葉の道を歩く	2回	川崎市幸区	11月19日・26日	29名
	美術館 プログラム	フィルム ワークショップ	2回	川崎市生涯学習 プラザ	8月11日 午前・午後	ワークショップ： 41名 上映会：41名
企画展 関連事業	のぞいてみよう 昔の暮らし ―昭和から平成へ―	企画展記念講演会「高度経済成長期の川崎 ―くらしの変化を探る―」	1回	川崎市大山街道 ふるさと館	7月9日	24名
		竹のポールをつくろう！	2回	川崎市大山街道 ふるさと館	7月24日 午前・午後	72名
		夏休み小中学生のためのふるさと発見講座「昔のくらしを調べよう」	1回	川崎市大山街道 ふるさと館	8月6日	14名
		昔のおもちゃで遊んでみよう！	1回	川崎市大山街道 ふるさと館	8月21日	19名
	鉄道開業 150年記念展 川崎鉄道三題晰	オンライン史跡めぐり 「砂利の多摩川」	Web配信	オンライン	9月2日～3月31日	794回(視聴回数)
		川崎の鉄道操車場―今昔めぐり― (オンライン)【昨年度動画の再配信】	Web配信	オンライン	10月1日～12月28日	1,620回(視聴回数)
		シンポジウム「鉄道旅行の聖と俗」	1回	東海道かわさき 宿交流館	10月8日	35名
		ジオラマ製作ワークショップ	2回	東海道かわさき 宿交流館	10月29日 午前・午後	ワークショップ： 17名 公開運転会：103名
	第 56 回 かわさき市美術展	オンラインセミナー「拓本の魅力」	Web配信	オンライン	11月1日～3月31日	340回(視聴回数)
		オンラインセミナー 「古代文字ってなんだろう」	Web配信	オンライン	11月1日～3月31日	247回(視聴回数)
		講評会	書面配布	—	—	—
		表彰式	1回	ミューザ川崎 シンフォニーホール	3月4日	50名
			Web配信	オンライン	3月13日～3月31日	94回(視聴回数)
	あっけなく明快な 絵画と彫刻、続い ているわからない 絵画と彫刻	トークイベント「あっけなく明快な絵画と彫刻、続いているわからない絵画と彫刻について」	1回	川崎市産業振興 会館	3月5日	17名
		ワークショップ 「一枚と一個のかたち」	1回	川崎市とどろき アリーナ	3月18日	8名
	被災から今、ふた たび―川崎市市民 ミュージアム修復 収蔵品展―	水損した紙資料の応急処置ワーク ショップ	2回	川崎市生活文化 会館 てくのかわさき	3月19日 午前・午後	19名
学芸員 研究発表	川崎市 市民ミュージアム 講座(オンライン)	昔の漫画に詳しくなろう!「漫画の歴史は関東大震災が変えた!」編	Web配信	オンライン	8月19日～3月31日	623回(視聴回数)
		新橋―横浜間鉄道開業と川崎	Web配信	オンライン	9月16日～3月31日	297回(視聴回数)
		入門! 修復とは何なのか ―保存修復と光の関係―	Web配信	オンライン	10月7日～3月31日	333回(視聴回数)
		お茶壺道中一件 ―「御茶」運搬中 に川崎宿でいったい何が!?―	Web配信	オンライン	11月4日～3月31日	232回(視聴回数)
		磁気テープの応急処置とデジタル化 ―川崎市市民ミュージアム実践編―	Web配信	オンライン	12月16日～3月31日	274回(視聴回数)
		川崎大師と初期の京浜電気鉄道 【昨年度講座の再配信】	Web配信	オンライン	10月1日～12月28日	140回(視聴回数)
		昔の漫画に詳しくなろう!「正チャン の冒険」編【昨年度講座の再配信】	Web配信	オンライン	1月25日～2月24日	166回(視聴回数)

(2)子どもたち及び青少年の学習活動及び体験活動を支援する事業

次代を担う子どもたちや青少年を対象として、市民ミュージアムの収蔵品、研究成果等を活用し、市内の小中学校等と連携した学校での学習单元及び社会体験に沿ったプログラムを企画・実施する。

事業名		講座名	回数	日程	人数
スクールプログラム	学校出張プログラム	宮内小（インタビュー）	2回（場所：宮内小）	2月6日	40名
社会科教育推進事業	出張授業	宮崎小		7月4日	210名
		長沢小		7月7日・8日	114名
		宮前小		7月11日	120名
		浅田小		7月15日	50名
		渡田小		9月5日	160名
		富士見台小		9月8日・9日	180名
		金程小		9月13日	60名
		橘小		9月15日	138名
		千代ヶ丘小		9月20日	70名
		東小田小		9月22日	38名
		新作小		9月28日	77名
		東生田小		9月30日	125名
		上丸子小		10月3日	164名
		真福寺小		10月6日	45名
		西菅小		10月13日	35名
		南菅小		10月14日	40名
		田島小		10月20日	79名
		片平小		10月21日	126名
		古市場小		10月24日	72名
		稲田小		10月25日	139名
		東住吉小		11月1日	91名
		南河原小		11月4日	73名
		四谷小		11月8日	56名
		下平間小		11月10日	90名
		南生田小		11月18日・21日	168名
		西有馬小		11月22日	190名
		殿町小		11月24日	65名
		はるひ野小		11月28日・30日	164名
		幸町小		12月2日	106名
		久末小		12月6日	137名
		久地小		12月8日	137名
		西御幸小		12月13日	54名
		小杉小		12月16日	108名
		新城小		12月19日	119名
		下沼部小		12月22日	172名
		向丘小		1月12日	122名
		東菅小		1月13日	79名
		京町小		1月16日	62名
		坂戸小		1月19日	120名
		東柿生小		1月23日	85名
		宮内小		1月27日	129名
		宮前平小		2月9日	117名
		戸手小		2月10日	89名

事業名	講座名	回数	日程	人数
出張授業	旭町小		2月13日	95名
	今井小		2月16日	111名
	東門前小		2月21日	133名
体験グッズ貸出	苅宿小		9月5日	95名
	西丸子小		9月16日	95名
	宮崎台小		10月4日	130名
	井田小		10月24日	144名
	久地小		11月18日	137名
	東大島小		11月30日	33名
	大島小		12月6日	57名
	西梶ヶ谷小		12月12日	99名
	平小		1月20日	87名
社会科教育推進事業	浅田小		6月8日	54名
	下平間小		6月8日	95名
	宮前小		6月17日	124名
	古市場小		6月17日	76名
	はるひ野小		6月17日	174名
	橘小		7月1日	153名
	長沢小		7月1日	118名
	下沼部小		7月10日	172名
	渡田小		8月15日	160名
	長尾小		8月18日	59名
	新作小		8月18日	82名
	苅宿小		8月18日	100名
	大戸小		8月18日	134名
	西丸子小		8月18日	95名
	大師小		8月24日	119名
	幸町小		9月1日	111名
	真福寺小		9月1日	48名
	ワークブック配布			
	稲田小		9月1日	143名
	南河原小		9月1日	76名
	田島小		9月1日	84名
	上丸子小		9月1日	170名
	千代ヶ丘小		9月1日	75名
	四谷小		9月23日	61名
	三田小		9月23日	94名
	南菅小		9月23日	43名
	野川小		9月23日	161名
	新町小		9月23日	53名
	東生田小		10月4日	140名
	井田小		10月4日	144名
	宮崎台小		10月4日	130名
	西有馬小		10月5日	193名
	片平小		10月5日	134名
	古川小		10月5日	215名
	王禅寺中央小		10月20日	91名
	殿町小		10月24日	68名

事業名	講座名	回数	日程	人数
社会科教育推進事業 ワークブック配布	南生田小		10月24日	175名
	麻生小		10月24日	125名
	西御幸小		10月31日	56名
	有馬小		10月31日	65名
	久末小		10月31日	141名
	宮内小		11月1日	135名
	旭町小		11月1日	102名
	今井小		11月1日	115名
	夢見ヶ崎小		11月9日	62名
	柿生小		11月9日	128名
	西梶ヶ谷小		11月10日	105名
	梶ヶ谷小		11月16日	145名
	高津小		11月21日	210名
	栗木台小		11月21日	106名
	東大島小		11月28日	38名
	大島小		12月6日	57名
	東柿生小		12月7日	90名
	向丘小		12月7日	130名
	大谷戸小		12月20日	186名
	宮前平小		12月20日	120名
	東門前小		12月20日	140名
	戸手小		1月9日	94名
	平小		1月9日	94名
	藤崎小		1月20日	103名
	稗原小		2月9日	125名

※ワークブック配布は教員等を含めた人数を記載



(3) すべての人が参加しやすい事業

令和元年度に被災するまでは、すべての人が文化芸術を身近に感じ参加できるバリアフリープログラムを実施していたが、被災後は同プログラムのうちボランティア活動支援を「収蔵品レスキュー作業への協力」に変更し実施している。

事業名	講座名	回数	場所	日程	人数
バリアフリープログラム	表現の楽しさを体感し美術への興味を深めるプログラム	2回	川崎市とどろきアリーナ	5月5日 午前・午後	43名
	家族向け鑑賞・創作ワークショップ	2回	ミューザ川崎シンフォニーホール	10月15日 午前・午後	61名
	障害の有無に関わらず参加できる鑑賞ワークショップ	2回	オンライン	12月3日・10日	12名
ボランティア活動支援	収蔵品レスキュー作業への協力	34回	館内	毎週土曜日	47名

(4) 高等教育機関との連携

東海大学と川崎市市民ミュージアムとの協働による被災資料レスキュー事業。

事業名	講座名	回数	場所	日程	人数
東海大学と川崎市市民ミュージアムとの協働による被災資料レスキュー事業	事前研修	1回	館内	6月21日	6名
	ワークショップ	3回	東海大学	6月27日、7月20日、9月13日	42名
	フィードバック会	1回	東海大学	9月13日	15名 (9/13のワークショップ参加者と同じ)



收集・貸出・特別利用



収集・貸出・特別利用

1. 収集

令和4年度は、下記の資料または作品の収集を行った。

■ 寄贈 1件

木村伊兵衛写真賞3~38回受賞作品 藤原新也《逍遙遊記》等 158点

2. 整理・保存

令和4年度は、博物館・美術館資料を中心に整理・保存作業を行い、それに伴う統合データベースの確認・精査・反映・整備方針の作成、さらにデータベースの運用方針・一部改訂作業などを進めた。

3. 収蔵品の貸出・他館への協力

令和4年度における他機関への資料貸出、特別利用の実績は以下の通りである。

■ 館外貸出 5件

	貸出先	貸出資料	点数
1	川崎区役所まちづくり推進部企画課 2022年4月1日～2023年3月3日	昭和38年頃の川崎駅周辺模型	1点
2	川崎市立下布田小学校 2022年4月1日～2023年3月31日	石製傍示杭（東京府飛地）	1点
3	一般社団法人日本脚本アーカイブズ推進コンソーシアム 2022年6月29日～2022年10月31日	取調室2（仮題） 小京都ミステリー5 奥飛騨・三寺まいり殺人事件 火災調査官・紅蓮次郎（仮題） 刑事吉永誠一 涙の事件簿6 家政婦は見た！22 金田一耕助の傑作推理 死仮面 明日を殺さないで 青函特急殺人ルート 浅見光彦シリーズ① 伊香保殺人事件 混浴露天風呂シリーズ那須塩原編 十二年間の嘘 ～乳と蜜の流れる地よ～ 日光殺人事件 天河伝説殺人事件 信濃のコロンボ事件ファイル4 戸隠伝説殺人事件 窓際調査官 窓際太郎の事件簿22 法医学教室の事件ファイルX X I V スペシャル 日本への脱出～ユダヤ人1万キロの旅～	17点
4	川崎市大山街道ふるさと館 企画展「大山街道と二子・溝口ー大山まいり・商い・文化ー」 2022年8月31日～2023年1月10日	諸国順覧懷宝道中図鑑 御神酒枠 御神酒枠の外箱 英単語等練習帳 数学解答	5点
5	一般社団法人日本脚本アーカイブズ推進コンソーシアム 2022年10月3日～2023年1月31日	歌のワイド90分！ 思い出のメロディー 戦後50年 それはラジオからはじまった タモリの音楽は世界だ ヤマハ・ヤング・ジャンボリー 輝け！第14回 日本歌謡大賞 第1回日本作曲大賞 今夜決定！'81ベストヒットメロディ 日本作曲大賞は誰の手に！！ FAN 夜のヒットスタジオ DELUXE スペシャル ミュージックステーション オールスター家族対抗歌合戦 '91 FNS 歌謡祭 ザ・ベストテン 恒例第十八回年忘れにっぽんの歌	13点

■特別利用 67件（原板使用66件、複製1件）

No.	利用区分	利用先	申請資料・作品名（作家名）
1	原板使用	株式会社電通東日本	川崎市写真コンクール写真作品 溝ノ口駅（高津・昭和30年代）1点
2	原板使用	株式会社増進堂・受験研究社	ジョルジュ・ピゴ「メンザレ号の救助」2点 / 「魚釣り遊び」1点
3	複製	NPO 法人かわさき市民アカデミー	川崎の三匹獅子舞 1点
4	原板使用	株式会社文学通信	東京郊外電車回遊図絵 1点
5	原板使用	株式会社ベネッセコーポレーション	ジョルジュ・ピゴ「魚釣り遊び」1点
6	原板使用	株式会社ナイズ	加藤悦郎「巷説行革風景」（『東京パック』1937年新年号）1点
7	原板使用	（個人）	George Fernand Bigot, Coolie Buying Pastry, 1894 1点
8	原板使用	テレビ朝日映像株式会社	佐藤惣之助肖像写真 1点
9	原板使用	株式会社琉球新報社	佐藤惣之助肖像写真 1点
10	原板使用	株式会社アフロ	加藤悦郎「巷説行革風景」（『東京パック』1937年新年号）1点
11	原板使用	株式会社 ABC アーク	「関東下知状」1221（承久3）年 1点
12	原板使用	株式会社小学館	田村彰英「午後」《Fuji Speedway》、《Noto》 各1点
13	原板使用	株式会社開発社	『絵本百物語』より「神なり」、「船幽霊」、「二口女」、「塩の長次郎」 各1点
14	原板使用	株式会社増進堂・受験研究社	加藤悦郎「巷説行革風景」（『東京パック』1937年新年号）1点
15	原板使用	鯖江市まなべの館	ジョルジュ・ピゴ「漁夫の利」、「社交界に出入りする紳士淑女」、「メンザレ号の救助」 各1点
16	原板使用	株式会社小道舎	『絵本百物語』より「小豆洗い」、「船幽霊」、「二口女」、「お歯黒べったり」、「白蔵主」、「鬼熊」 各1点
17	原板使用	株式会社ジャパントイズ出版	寛永年中豊後肥田ニテ捕候水虎之図 1点
18	原板使用	公益財団法人東日本鉄道文化財団	川崎宿森家文書『当初玉川最初鉄道橋之全図』 1点
19	原板使用	（個人）	チャールズ・ワグマン作品写真帖（フェリックス・ベアト撮影） 24点
20	原板使用	株式会社 and pictures	下川凹天肖像写真 1点
21	原板使用	川崎市市民文化局市民文化振興室	鳥山石燕『画図百鬼夜行』「赤舌」 1点
22	原板使用	株式会社増進堂・受験研究社	ジョルジュ・ピゴ「社交界に出入りする紳士淑女」1点 / 「メンザレ号の救助」2点
23	原板使用	株式会社山川出版社	古写真（河津祐邦、田中廉太郎、河田熙、杉浦愛蔵、田辺太一、矢野二郎、西吉十郎） 7点
24	原板使用	株式会社 and pictures	下川凹天肖像写真 1点
25	原板使用	株式会社光文社	川崎大師園住宅地分譲案内地図 1点
26	原板使用	漫画とデザイン展企画チーム	アサヒマンガ 珍傑忍術漫遊記、チャンバラマンガ 忍術大阪城 各1点
27	原板使用	株式会社ブラネットライツ	『絵本百物語』より「小豆洗い」、「船幽霊」 各1点
28	原板使用	株式会社山川出版社	ジョルジュ・ピゴ「社交界に出入りする紳士淑女」 3点
29	原板使用	愛知県世界史教育研究会	ジョルジュ・ピゴ『トバエ』創刊号 掲載作品「魚釣り遊び」ほか 8点
30	原板使用	NPO 法人かわさき市民アカデミー	小向の獅子舞、稲毛神社山王まつり 各1点
31	原板使用	株式会社小学館	『ジャパン・パンチ』1866年1月号、1886年10月号 各1点
32	原板使用	有馬・野川生涯学習支援施設アリーノ	鷺沼ブルー、市政ニュース 各1点
33	原板使用	株式会社カルチャーランド	ジョルジュ・ピゴ『トバエ』 1点
34	原板使用	株式会社増進堂・受験研究社	ジョルジュ・ピゴ「メンザレ号の救助」 1点
35	原板使用	株式会社エンタープライズ	『北斎漫画』十篇「役小角」 1点
36	原板使用	東京都公文書館	川崎宿森家文書『当初玉川最初鉄道橋之全図』 1点
37	原板使用	株式会社白水社	『ジャパン・パンチ』1866年5月号 1点
38	原板使用	NPO 法人かわさき市民アカデミー	白幡八幡大神の禰宜舞、沖縄民俗芸能 各1点
39	原板使用	株式会社コロマチ	『ニヶ領絵図』 2点
40	原板使用	株式会社増進堂・受験研究社	ジョルジュ・ピゴ「魚釣り遊び」 1点
41	原板使用	株式会社啓隆社	ジョルジュ・ピゴ「魚釣り遊び」 3点 / 「社交界に出入りする紳士淑女」2点 / 「メンザレ号の救助」 1点
42	原板使用	株式会社ユニフォトプレスインターナショナル	加藤悦郎「巷説行革風景」（『東京パック』1937年新年号）1点

No.	利用区分	利用先	申請資料・作品名（作家名）
43	原板使用	灸まん美術館	岡本一平肖像写真（大正14年：青山の自宅にて） 1点
44	原板使用	（個人）	ジョルジュ・ビゴー『トバエ』創刊号 8点 / 「社交界に出入りする紳士淑女」 1点
45	原板使用	株式会社晃洋書房	「おあひだに寄合て人となる」 2点
46	原板使用	株式会社リワークス	向ヶ丘の第一勧銀付近・モノレール（多摩区・昭和49年） 2点
47	原板使用	株式会社ユニフォトプレスインターナショナル	加藤悦郎「巷説行革風景」（『東京パック』1937年新年号） 1点
48	原板使用	ライズ株式会社	ジョルジュ・ビゴー「社交界に出入りする紳士淑女」 1点
49	原板使用	株式会社さきたま出版会	『絵本百物語』より「小豆洗い」 1点
50	原板使用	（個人）	武州金沢・横浜入江図 1点
51	原板使用	（個人）	アルフォンス・ミュシャ《ジョブ》1908年 1点
52	原板使用	NPO法人かわさき市民アカデミー	長尾神社の射的祭 1点
53	原板使用	東京書籍株式会社	ジョルジュ・ビゴー「メンザレ号の救助」 1
54	原板使用	（個人）	川崎市写真コンクール写真作品 バキュームカーのせいぞろい 1点
55	原板使用	株式会社E&W	「小杉村等々力論争判決及地図 其ノ一」、「小杉村絵図」 各1点
56	原板使用	株式会社東京美術	『北斎漫画』より「膽が芋に成る」 1点
57	原板使用	（個人）	小星（作）/ 東風人（画）『お伽正チャンの冒険』巻の巻、「のんきな父さん（17）」（報知新聞1923年）、「芋川棕三」（『東京パック』1915年）、『ジャパン・パンチ』創刊号表紙 各1点
58	原板使用	NPO法人かわさき市民アカデミー	「溝口村水騒動明細帳」、「水騒動御裁許 写」、「下平間村絵図」、「宝暦十二年小杉村地図」 各1点
59	原板使用	東北発 博物館・文化財等防災力向上プロジェクト実行委員会	河童図 1点
60	原板使用	株式会社アフロ	加藤悦郎「巷説行革風景」（『東京パック』1937年新年号） 1点
61	原板使用	株式会社ジェイ・エフ・ジー	川崎市写真コンクール写真作品 初夏の塩浜 1点
62	原板使用	株式会社クロノクリエイト	加藤悦郎「巷説行革風景」（『東京パック』1937年新年号） 1点
63	原板使用	株式会社ベネッセコーポレーション	ジョルジュ・ビゴー「魚釣り遊び」 1点
64	原板使用	サイバー・ネット・コミュニケーションズ株式会社	加藤悦郎「巷説行革風景」（『東京パック』1937年新年号） 8点
65	原板使用	NPO法人らしく並木	武州金沢・横浜入江図 1点
66	原板使用	株式会社セールス手帖社	『ジャパン・パンチ』1865年11月号 2点
67	原板使用	株式会社フォト・パブリッシング	川崎市写真コンクール写真作品 47点

■被災関係画像利用 7件（原板使用7件）

No.	利用区分	利用先	申請資料・作品名（作家名）
1	原板使用	一般社団法人国宝修理装演師連盟	被災画像 1点
2	原板使用	国立文化財機構文化財防災センター	被災画像 3点
3	原板使用	国立文化財機構文化財防災センター	被災画像 2点
4	原板使用	東洋美術学校	被災画像 4点
5	原板使用	国立映画アーカイブ	被災画像 2点
6	原板使用	東北発 博物館・文化財等防災力向上プロジェクト実行委員会	被災画像 7点
7	原板使用	横浜美術館	被災画像 1点

調査・研究



調査・研究

1. 調査研究

<調査>

- ・企画展「川崎宿展（仮）」に関する資料調査（川崎市公文書館）（菊地）
- ・企画展「昔のくらし展（仮）」に関する資料調査（川崎市大山街道ふるさと館）（谷・林）
- ・「横浜幕末維新史研究会」参加 5月18日、7月20日、10月29日、3月14日（菊地）

2. 出版

『川崎市市民ミュージアム紀要』第35集

- ・論文「原美樹子の写真一向こう側の世界を手繰りよせて―」（中野）
- ・論文「近代の多摩川砂利採取と川崎市」（鈴木）

<寄稿>

- ・「“三つめの場所”としてのウェブサイト」月刊社会教育 特集「デジタル化と社会教育」No.797 2022年10月号（杉浦）
- ・「川崎のウルトラマン」『有鄰』『海辺』の創造力 令和4年11月号（村岡）
- ・「郡県境確定関係文書と川崎市市民ミュージアムの被災収蔵品レスキュー活動」『古文書通信』第135号 学校法人NHK学園 2022年12月（菊地）
- ・「日本近代におけるキリスト教の伝道とミッション建築家たち―聖公会を中心に―」宇都宮美術館編『二つの教会をめぐる石の物語』下野出版社 2023年2月（鈴木）
- ・令和4年度第2回研修会報告「ロマンスカーミュージアムを見学して」『神奈川県博物館協会報』94号 2023年3月（鈴木）

3. 職員の派遣

4月1日～3月31日 一般社団法人 全国美術館会議 広報委員会ホームページ担当（杉浦）

5月14日 「初期の京浜電気鉄道」横浜市歴史博物館 特別展「みんなでつなげる鉄道150年―鉄道発祥の地よこはまと沿線の移り変わり―」記念講演会（鈴木）

6月21日（事前研修）、6月27日、7月20日、9月13日（フィードバック会含む）

「古文書洗浄ワークショップ」東海大学松前記念館〈歴史と未来の博物館〉 東海大学と川崎市市民ミュージアムとの協同による被災資料レスキュー事業（菊地・谷）

7月9日 「高度経済成長期の川崎―くらしの変化を探る―」川崎市大山街道ふるさと館 企画展「のぞいてみよう昔のくらし―昭和から平成へ―」記念講演会（谷）

8月6日 「昔のくらしを調べよう」川崎市大山街道ふるさと館 企画展「のぞいてみよう昔のくらし―昭和から平成へ―」夏休み小中学校のためのふるさと発見講座（林）

9月10日 「鉄道クロストーク」横浜市歴史博物館 特別展「みんなでつなげる鉄道150年―鉄道発祥の地よこはまと沿線の移り変わり―」記念イベント（鈴木）

9月26日 「幕末期の漁業争論と明治期の郡・県境」学校法人NHK学園国立本校 学校法人NHK学園令和4年度古文書秋の集中講義（菊地）

10月29日 「鉄道操車場物語―新鶴見から塩浜へ―」横浜開港資料館 首都圏形成史研究会 第122回例会「シンポジウム“鉄道史”展示の現状と課題―地域博物館の視点から―」（鈴木）

11月19日 「お家でフィルムを見つけたら」川崎市有馬・野川生涯学習支援施設アリーノ アリーノ地域図書室講座（村岡）

11月27日、12月4日、12月11日

「明治期以降における川崎市域の茶業」川崎市生涯学習プラザ 令和4年度川崎市公文書館古文書講座（菊地）

12月11日 「多摩川の砂利と南武鉄道」宮前市民館 令和4年度宮前市民館市民自主学級（鈴木）

- 12月18日 「江戸・明治期に発展した高津の地域医療―蘭方医太田家・漢方医岡家の活躍―」川崎市大山街道ふるさと館 川崎市大山街道ふるさと館令和4年度ふるさと探究講座（菊地）
- 1月24日 「川崎市市民ミュージアムにおける古文書レスキューの概要」川崎市市民ミュージアム 令和4年度神奈川県歴史資料取扱連絡協議会研修会（谷）
- 2月11日 「川崎市市民ミュージアム 被災と現状 ―収蔵品レスキューおよび現在までの博物館活動―」武蔵学芸ネットワーク 第5回例会2023（杉浦）
- 3月11日 「展示解説会」名古屋市博物館 陸前高田市立博物館新館開館記念特別展「未来への約束～博物館が守り伝えるふるさとものたち～」（谷）
- 3月20日 「みえない被災 ―教育普及の現場から―」国立西洋美術館 全国美術館会議 第37回学芸員研修会（奈良本）

4. 研修

- 9月 6日 「ロマンスカーを核としたミュージアムづくり」ロマンスカーミュージアム 神奈川県博物館協会第2回研修会（鈴木・菊地・霜村）
- 12月7日 「博物館調査研究報告の現在とこれから―自然史系調査研究の報告事例から―」神奈川県立生命の星・地球博物館 神奈川県博物館協会第3回研修会（谷）
- 12月22日 「フランス、アメリカ及び日本の文化観光について」一般社団法人 全国美術館会議 教育普及研究部会 第58回会合（杉浦）
- 12月20日 「LEDの現状2022」静岡県立美術館 静岡県博物館協会令和4年度第1回講習会（菊地）

5. 視察

- ・神奈川県歴史資料取扱連絡協議会「令和4年度研修会」（2023年1月24日）

6. 被災収蔵品レスキュー報告プロジェクト

- ・連載企画「被災収蔵品処置の記録 ―収蔵品を追う―」
2022年7月11日（月）公開 ～美術文芸分野編～＜草薙の剣＞
- ・被災漫画原画、修復の記録
2022年9月20日（火）公開 映像ドキュメンタリー「川崎市市民ミュージアム 被災漫画原画、修復の記録」
2022年9月20日（火）公開 漫画作品「袋につめて」作：増村十七／英訳：アイケ・エクスナ
※「袋につめて」はWeb公開のほか冊子を企画展「被災から今、ふたたび―川崎市市民ミュージアム修復収蔵品展―」のアンケート回答者に配布した

広報



広報

1. 展覧会

展覧会名	No.	種別	媒体社名	媒体名	日付
のぞいてみよう昔のくらし ー昭和から平成へー	1	フリーペーパー	川崎市大山街道ふるさと館	大山街道ふるさと館だより No.69	2022/5/27
	2	Web	川崎市生涯学習財団	川崎市生涯学習財団 HP	2022/5/27
	3	Web	アクトインディ株式会社	いこーよ	2022/5/30
	4	Web	川崎市	かわさきイベントアプリ	2022/6/1
	5	その他	川崎市	かわさき市政だより 6月号	2022/6/1
	6	フリーペーパー	株式会社タウンニュース社	タウンニュース 中原区版	2022/6/17
	7	フリーペーパー	川崎市文化財団	かわさきアートニュース 7月号	2022/6/17
	8	Web	神奈川県観光協会	観光かながわ NOW	2022/6/20
	9	Web	川崎市観光協会	川崎日和り	2022/6/20
	10	新聞	中日新聞東京本社	東京新聞	2022/6/20
	11	ラジオ	かわさき市民放送株式会社	かわさき FM	2022/6/23
	12	ラジオ	イッツ・コミュニケーションズ 株式会社	FM サルース	2022/7/3
	13	TV	イッツ・コミュニケーションズ 株式会社	「イッツコム地モト NEWS」	2022/7/6
	14	フリーペーパー	株式会社タウンニュース社	タウンニュース 高津区版	2022/7/29
	15	TV	イッツ・コミュニケーションズ 株式会社	イッツコム地モト NEWS	2022/7/29
	16	ラジオ	FM ヨコハマ	COLORFUL KAWASAKI	2022/8/7
市内巡回展 「救う過去、つなぐ未来 ー川崎市市民ミュージアム被災後活動報告展ー」	1	新聞	中日新聞東京本社	東京新聞	2022/8/18
	2	TV	イッツ・コミュニケーションズ 株式会社	イッツコム地モト NEWS	2022/8/18
	3	ラジオ	イッツ・コミュニケーションズ 株式会社	FM サルース	2022/8/21
	4	Web	川崎市生涯学習財団	川崎市生涯学習財団 HP	2022/8/25
	5	Web	川崎市	かわさきイベントアプリ	2022/9/1
	6	フリーペーパー	川崎市文化財団	かわさきアートニュース 11月号	2022/10/18
	7	その他	川崎市	かわさき市政だより 11月号	2022/11/1
被災から今、ふたたび ー川崎市市民ミュージアム修復収蔵品展ー	1	新聞	読売新聞社	読売新聞	2022/8/23
	2	Web	川崎市生涯学習財団	川崎市生涯学習財団 HP	2022/8/25
	3	Web	株式会社イープラス	チラシミュージアム	2022/8/25
	4	Web	川崎市	かわさきイベントアプリ	2022/9/1
	5	Web	国立国会図書館	カレントアウェアネス・ポータル	2022/9/5
	6	フリーペーパー	川崎市文化財団	かわさきアートニュース	2022/9/14
	7	Web	神奈川新聞社	カナロコ	2022/9/24
	8	新聞	読売新聞社	読売新聞	2022/9/29
	9	新聞	朝日新聞社	朝日新聞	2022/9/29
	10	TV	テレビ神奈川	tvk ニュース	2022/9/29
	11	フリーペーパー	株式会社タウンニュース社	タウンニュース 高津区版	2022/9/30
鉄道開業 150 年記念展 川崎鉄道三題噺	1	Web	トヨタ・企業メセナ協議会	ネット TAM	2022/8/25
	2	Web	川崎市生涯学習財団	川崎市生涯学習財団 HP	2022/8/25
	3	Web	川崎市	かわさきイベントアプリ	2022/9/1
	4	その他	川崎市	かわさき市政だより 9月号	2022/9/1
	5	フリーペーパー	川崎市文化財団	かわさきアートニュース 10月号	2022/9/14
	6	フリーペーパー	中日新聞東京本社	東京新聞 TODAY	2022/9/23
	7	新聞	神奈川新聞社	神奈川新聞	2022/9/23
	8	TV	YOU テレビ株式会社	地域情報番組「My You!」	2022/9/26 ~ 10/2
	9	TV	イッツ・コミュニケーションズ 株式会社	イッツコム地モト NEWS	2022/9/30
	10	Web	交友社	鉄道ファン realf.jp	2022/10/2
	11	新聞	中日新聞東京本社	東京新聞	2022/10/6
	12	Web	ネコ・パブリッシング(カルチュア・ エンタテインメント株式会社)	鉄道ホビダス	2022/10/12
	13	TV	テレビ神奈川	猫のひたいほどワイド	2022/10/26

展覧会名	No.	種別	媒体社名	媒体名	日付
鉄道開業 150 年記念展 川崎鉄道三題噺	14	新聞	産経新聞社	産経新聞	2022/10/28
	15	ラジオ	FM ヨコハマ	KANAGAWA Muffin	2022/11/5
オンライン展覧会 「the 3rd Area of “C” —3 つめの ミュージアム—」 2022	1	フリーペーパー	川崎市文化財団	かわさきアートニュース 1 月号	2022/12/13
	2	Web	川崎市生涯学習財団	川崎市生涯学習財団 HP	2022/12/15
	3	Web	川崎市生涯学習財団	川崎市生涯学習財団 HP	2022/12/15
	4	Web	川崎市生涯学習財団	川崎市生涯学習財団 HP	2022/12/15
	5	Web	トヨタ・企業メセナ協議会	ネット TAM	2022/12/15
	6	新聞	中日新聞東京本社	東京新聞	2022/12/20
	7	Web	川崎市	かわさきイベントアプリ	2022/12/20
	8	Web	川崎市	かわさきイベントアプリ	2022/12/20
	9	Web	川崎市	かわさきイベントアプリ	2022/12/20
	10	Web	株式会社タウンニュース社	タウンニュース 宮前・多摩区版	2022/12/23
	11	Web	株式会社タウンニュース社	タウンニュース 中原・高津区版	2023/1/1
	12	フリーペーパー	川崎市文化財団	かわさきアートニュース 2 月号	2023/1/18
	13	TV	イッツ・コミュニケーションズ 株式会社	イッツコム地モト NEWS	2023/1/23
	14	その他	川崎市	かわさき市政だより 2 月号	2022/2/1
	15	新聞	読売新聞社	読売新聞	2023/2/5
	16	Web	川崎市	かわさきイベントアプリ	2023/2/7
	17	Web	川崎市	かわさきイベントアプリ	2023/2/7
	18	Web	株式会社アマナ	IMA ONLINE	2023/2/14
	19	フリーペーパー	川崎市文化財団	かわさきアートニュース 3 月号	2023/2/14
	20	新聞	神奈川新聞社	神奈川新聞	2023/2/17
	21	Web	カルチュア・コンビニエンス・ クラブ株式会社	美術手帖	2023/2/19
	22	TV	イッツ・コミュニケーションズ 株式会社	イッツコム地モト NEWS	2023/3/23
第 56 回 かわさき市美術展	1	その他	川崎市	かわさき市政だより 7 月号	2022/7/1
	2	Web	トヨタ・企業メセナ協議会	ネット TAM	2022/7/6
	3	Web	川崎市生涯学習財団	川崎市生涯学習財団 HP	2022/7/7
	4	Web	公募ガイド社	公募ガイド	2022/7/7
	5	フリーペーパー	株式会社タウンニュース社	タウンニュース 中原区版・宮前区 版・多摩区版	2022/7/8
	6	Web	ビッグロブ株式会社	BIGLOBE 旅行	2022/7/8
	7	Web	アクトインディ株式会社	いこーよ	2022/7/8
	8	新聞	神奈川新聞社	神奈川新聞 (カナロコ)	2022/7/11
	9	Web	株式会社 谷口松雄堂	ゆめ画材	2022/7/12
	10	フリーペーパー	株式会社タウンニュース社	タウンニュース 川崎区・幸区版	2022/7/15
	11	フリーペーパー	株式会社タウンニュース社	タウンニュース 高津区版	2022/7/29
	12	Web	川崎市	かわさきイベントアプリ	2022/8/1
	13	Web	スターフィールド株式会社	コンペナビ	2022/8/1
	14	Web	合同会社 和の杜	ウィリアムリード・日野子雲作品展	2022/11/1
	15	Web	和紙文化研究会	和紙文化研究会 公式サイト	2022/11/2
	16	Web	川崎市文化財団	ぱらあーとねっと	2022/11/2
	17	雑誌	公益財団法人 日本博物館協会	博物館研究 第 58 巻	2023/1/25
	18	Web	川崎市生涯学習財団	川崎市生涯学習財団 HP	2023/2/3
	19	Web	ビッグロブ株式会社	BIGLOBE 旅行	2023/2/3
	20	Web	株式会社 KADOKAWA	Walker plus+	2023/2/3
	21	Web	アクトインディ株式会社	いこーよ	2023/2/3
	22	Web	エヌ・ティ・ティ・テレビジョン株 式会社	goo ニュース	2023/2/3
	23	Web	株式会社 N T T ドコモ	dmenu ニュース	2023/2/3
	24	Web	株式会社 日本旅行	日本旅行	2023/2/3
	25	Web	川崎市	かわさきイベントアプリ	2023/2/14
	26	フリーペーパー	株式会社タウンニュース社	タウンニュース 川崎区・幸区版	2023/3/17
	27	フリーペーパー	株式会社タウンニュース社	タウンニュース 川崎区・幸区版	2023/3/17
	28	雑誌	株式会社アートツリー出版社	PHOTOSAI Vol.40	2023/3/27

2. 上映

事業名	No.	種別	媒体社名	媒体名	日付
「河 あゝの裏切りが重く」 デジタル修復版 35mm フィルム プレミア上映会	1	Web	トヨタ・企業メセナ協議会	ネット TAM	2022/7/4
	2	Web	川崎市生涯学習財団	川崎市生涯学習財団 HP	2022/7/4
	3	Web	川崎市	かわさきイベントアプリ	2022/7/13
	4	フリーペーパー	川崎市文化財団	かわさきアートニュース 8月号	2022/7/15
	5	その他	川崎市	かわさき市政だより 8月号	2022/8/1
	6	フリーペーパー	株式会社タウンニュース社	タウンニュース 多摩区版	2022/8/5
	7	フリーペーパー	株式会社タウンニュース社	タウンニュース 高津区版	2022/8/12
	8	フリーペーパー	株式会社タウンニュース社	タウンニュース 麻生区版	2022/8/12
	9	新聞	神奈川新聞社	神奈川新聞	2022/8/18
	10	新聞	中日新聞東京本社	東京新聞	2022/8/18
	11	フリーペーパー	株式会社タウンニュース社	タウンニュース 中原区版	2022/8/19
川崎市市民 ミュージアム出張 タヤげ上映会	1	Web	トヨタ・企業メセナ協議会	ネット TAM	2022/8/8
	2	Web	川崎市生涯学習財団	川崎市生涯学習財団 HP	2022/8/8
	3	Web	川崎市	かわさきイベントアプリ	2022/8/12

3. 普及

イベント名	No.	種別	媒体社名	媒体名	日付
すみであそぼう みずでえがく、 すみのいろ	1	Web	株式会社トータルエージェント	川崎区民ニュース	2022/4/16
	2	Web	川崎市生涯学習財団	川崎市生涯学習財団 HP	2022/4/21
	3	Web	アクトインディ株式会社	いこーよ	2022/4/22
	4	Web	アクトインディ株式会社	いこーよ	2022/4/22
	5	Web	ビッグロブ株式会社	BIGLOBE 旅行	2022/4/28
さわれるシネマ ～フィルムで アニメーションを つくってみよう～	1	Web	川崎市生涯学習財団	川崎市生涯学習財団 HP	2022/7/8
	2	Web	アクトインディ株式会社	いこーよ	2022/7/11
	3	フリーペーパー	株式会社エリアブレイン	MYTOWN 8月号 (vol.856)	2022/7/25
	4	Web	川崎市	かわさきイベントアプリ	2022/8/1
家族でつくる アート・メモリー アートで遊ぶ!アート でしゃべる!アートで Photo!	1	Web	川崎市生涯学習財団	川崎市生涯学習財団 HP	2022/9/13
	2	Web	アクトインディ株式会社	いこーよ	2022/9/13
	3	Web	川崎市	かわさきイベントアプリ	2022/9/20
ジオラマ製作 ワークショップ	1	Web	川崎市生涯学習財団	川崎市生涯学習財団 HP	2022/10/12
	2	Web	川崎市	かわさきイベントアプリ	2022/10/12
	3	Web	アクトインディ株式会社	いこーよ	2022/10/12
言葉で旅する アーカイブ ～目の見えない人と見 える人が川崎の風景を 語る～	1	メールマガジン	川崎アイ eye センター	メールマガジン『アイ eye』第 174 号	2022/10/25
	2	Web	川崎市文化財団	ばらあーとねっと	2022/11/2
	3	Web	川崎市生涯学習財団	川崎市生涯学習財団 HP	2022/11/7
	4	Web	川崎市	かわさきイベントアプリ	2022/11/8
川崎市市民 ミュージアム講座 (オンライン)	1	Web	トヨタ・企業メセナ協議会	ネット TAM	2022/7/29
	2	Web	川崎市生涯学習財団	川崎市生涯学習財団 HP	2022/7/29
	3	Web	川崎市	かわさきイベントアプリ	2022/8/8
	4	フリーペーパー	川崎市文化財団	かわさきアートニュース 9月号	2022/8/18
	5	その他	川崎市	かわさき市政だより 9月号	2022/9/1
	6	新聞	中日新聞東京本社	東京新聞	2022/9/5
	7	新聞	神奈川新聞社	神奈川新聞	2022/9/9
	8	フリーペーパー	川崎市文化財団	かわさきアートニュース 12月号	2022/11/16
	9	Web	国立国会図書館	カレントアウェアネス・ポータル	2022/12/22

イベント名	No.	種別	媒体社名	媒体名	日付
《近藤恵介・富井大裕 トークイベント》 あっけなく明快な絵画 と彫刻、続いているわ からない絵画と彫刻 に ついて	1	Web	川崎市生涯学習財団	川崎市生涯学習財団 HP	2023/1/26
	2	Web	トヨタ・企業メセナ協議会	ネット TAM	2023/1/26
《近藤恵介・富井大裕 ワークショップ》 一枚と一個のかたち	1	Web	川崎市生涯学習財団	川崎市生涯学習財団 HP	2023/1/26
	2	Web	トヨタ・企業メセナ協議会	ネット TAM	2023/1/26

4. 報告プロジェクト 「川崎市市民ミュージアム被災収蔵品レスキューの記録」

名称	No.	種別	媒体社名	媒体名	日付
漫画作品『袋につめて』 増村十七	1	Web	サンデーマンガ倶楽部	サンデーマンガ倶楽部	2022/11/6

5. その他

内容	No.	種別	媒体社名	媒体名	日付
市民ミュージアム オンラインショップ	1	フリーペーパー	川崎市文化財団	かわさきアートニュース 6月号	2022/5/18
	2	Web	株式会社アート・ベンチャー・ オフィス ショウ	アート・ベンチャー・オフィス ショウ Web ページ	2022/11/29
	3	Web	鉄道友の会	鉄道友の会 Web サイト	2023/3/14
	4	フリーペーパー	川崎市文化財団	かわさきアートニュース 4月号	2023/3/17
その他	1	Web	株式会社 日経 BP	新・公民連携最前線	2022/4/26
	2	Web	中日新聞東京本社	東京新聞	2022/5/20
	3	Web	神奈川新聞社	カナロコ	2022/6/1
	4	フリーペーパー	株式会社タウンニュース社	タウンニュース 中原区版	2022/6/17
	5	Web	建通新聞社	建通新聞 電子版	2022/7/11
	6	TV	NHK	日曜美術館	2022/7/17
	7	フリーペーパー	株式会社タウンニュース社	タウンニュース 川崎区・幸区版	2022/7/22
	8	新聞	神奈川新聞社	カナロコ	2022/9/3
	9	Web	東海大学	東海大学ホームページ	2022/10/26
	10	Web	建通新聞社	建通新聞 電子版	2022/12/14
	11	Web	中日新聞東京本社	東京新聞 TOKYO Web	2023/1/8

資料



令和４年度歳出予算（川崎市市民ミュージアム関連）

単位：千円

事業名等	予算額	備考
市民ミュージアム事業費	874,697	
市民ミュージアム施設管理経費	121,407	
01 報酬	263	文化芸術振興会議委員報酬
08 旅費	583	普通旅費
10 需用費	16,631	電気料・水道料等
11 役務費	333	電話料・郵便料等
12 委託料	102,665	市民ミュージアム施設管理委託料等
13 使用料及び賃借料	693	電話交換機リース料等
17 備品購入費	36	庁内機器購入費
18 負担金補助及び交付金	203	博物館・美術館関係団体会費等
市民ミュージアム運営事業費	452,646	
07 報償費	1,111	かわさき市美術展賞賜金等
11 役務費	5,000	保険料
12 委託料	435,535	市民ミュージアム学芸業務委託料、 収蔵品管理業務委託料等
17 備品購入費	11,000	資料作品購入費
市民ミュージアム収蔵品修復事業費	284,398	
12 委託料	245,347	収蔵品修復委託料
17 備品購入費	15,532	修復備品購入費
18 負担金補助及び交付金	23,519	外部支援団体の技術的支援に対する負担金
市民ミュージアム施設整備事業費	16,246	
12 委託料	5,850	事業実施委託料
14 工事請負費	10,396	補修工事請負費
市民ミュージアム施設事業費	0	
13 使用料及び賃借料	0	市民ミュージアム仮施設設リース料 (R4～R12 債務負担)

施設概要

敷地面積	25,358㎡
建築面積	8,386㎡
延床面積	19,542㎡
常設展示室	2,551㎡
博物館展示室	1,491㎡
企画展示室	1,334㎡
企画展示室 1	597㎡
企画展示室 2	590㎡
アートギャラリー	1,060㎡
ミュージアムギャラリー 1・2	147㎡（82㎡＋ 65㎡）
逍遙展示空間	747㎡
映像ホール	342㎡（266 席）
ミニホール（椅子席・ビデオのみ）	57㎡（40 名）
研修室 1（机・椅子固定）	70㎡（24 名）
研修室 2	60㎡（30 名）
研修室 3	56㎡（36 名）
収蔵庫	2,433㎡
	（9 室、前室を含む）
その他	12,083㎡
ミュージアムショップ	40㎡
ラウンジ	62 席
身障者設備	
トイレ	5 ヶ所
車いす	4 台
乳幼児設備	
ベビーベッド	2 台
授乳室	1 室
ベビーカー	3 台

指定文化財

神奈川県指定 1 件	
鰐口 1 口	
川崎市指定 24 件	
紙本墨画淡彩仙女図 2 幅	
青銅製鰐口 1 口	
古筆手鑑「披香殿」 1 帖	
後北条氏の虎の印判状（永禄元年）	1 通
後北条氏の虎の印判状（永禄 7 年）	1 通
後北条氏の虎の印判状（天正 15 年）	1 通
関東下知状 附 極札 1 枚 1 通	
板碑 1 基	
有馬古墓群後谷戸グループ古墓出土火葬骨蔵器	
附 坏 19 箇 3 組 3 箇	
有馬古墓群台坂上グループ古墓出土火葬骨蔵器	
附 簪状骨製品 1 本 3 組 7 箇	
生田古墓群生田 8601 番地古墓出土火葬骨蔵器	
附 鹿角製刀子柄 1 本 2 組 4 箇	
生田古墓群鴛鴦沼古墓出土火葬骨蔵器	
附 鉄板状製品 1 枚 1 組 2 箇	
菅生古墓群長沢 1822 番地古墓出土火葬骨蔵器	2 組 4 箇
野川古墓群野川南耕地 A 地点古墓出土火葬骨蔵器	
附 鉄板状製品 1 枚 鉄釘 13 本 1 組 2 箇	
稗原古墓群 A 地点古墓出土火葬骨蔵器	
附 和銅開寶 1 枚 1 組 2 箇	
細山坂東谷古墳出土火葬骨蔵器	
附 鉄板状製品 1 枚 状骨製品 2 本	
无射志国荏原評銘文字瓦 1 点	
万福寺遺跡群縄文時代草創期出土品 一括	
宿河原縄文時代低地遺跡出土品 一括	
下原遺跡縄文時代後・晩期出土品 一括	
梶ヶ谷神明社上遺跡出土品 一括	
黒川の獅子頭 3 頭	
大師河原の漁撈具 一括	
鷲ヶ峰遺跡旧石器時代出土品 一括	

設計

建築設計者	（株）計画連合（担当 菊竹清訓）
展示設計者	（株）トータルメディア開発研究所

総工費（当時）

建築工事費	88 億円
展示工事	23 億円
資料収集	21 億円
運営費	10 億円
合計	約 150 億円

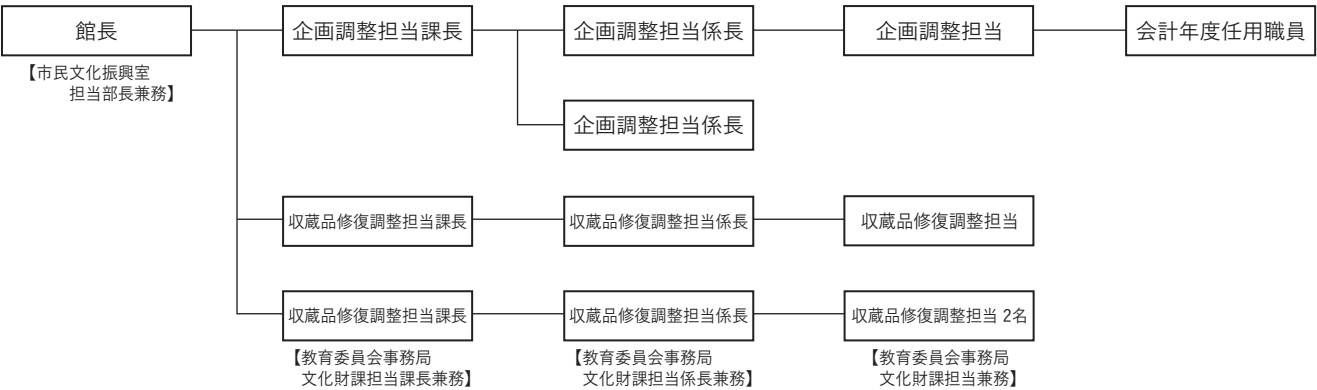
収蔵品

令和 4 年度分	
寄贈	1 件

分野	収蔵品総数	収蔵品内訳	
		作品・アーカイブズ 資料・図書	寄託品
歴史	42,377	39,696	2,681
民俗	13,981	13,951	30
考古	72,072	72,053	19
美術文芸	18,120	18,107	13
グラフィック	11,037	11,037	0
写真	33,113	32,932	181
漫画	74,503	74,503	0
映画	13,301	12,808	493
映像	28,131	27,238	893
合計	306,635	302,325	4,310

（令和 5 年 3 月 31 日現在）

【川崎市執行体制】



【受託事業者執行体制】



川崎市市民文化局 川崎市市民ミュージアム

(2022 年 4 月から 2023 年 3 月まで)

館長	小沢 正勝 【市民文化振興室担当部長兼務】
企画調整担当課長	井上 強 (～9 月)
企画調整担当課長	押田 智寿代 (10 月～)
企画調整担当係長	前田 憲造
企画調整担当係長	亀山 貴
企画調整担当	立石 諒太
会計年度任用職員	友安 正実
収蔵品修復調整担当課長	磯崎 茂
収蔵品修復調整担当係長	秋山 直大
収蔵品修復調整担当	渡部 和希
収蔵品修復調整担当課長	阿波 賢一郎 【教育委員会事務局文化財課担当課長兼務】
収蔵品修復調整担当係長	岡本 寛治 【教育委員会事務局文化財課担当係長兼務】
収蔵品修復調整担当	櫻井 はるえ 【教育委員会事務局文化財課兼務】
収蔵品修復調整担当	竹尾 進 【教育委員会事務局文化財課兼務】

受託事業者

(2022 年 4 月から 2023 年 3 月まで)

施設担当責任者	丸山 圭
施設担当責任者補佐	尾島 孝 (7 月～)

学芸室長	佐藤 美子
教育普及部門長	奈良本 真紀
学芸部門 博物館チーフ	鈴木 勇一郎
学芸部門 美術館チーフ	新美 琢真
学芸部門 総合調整チーフ	中野 可南子
学芸主任 (教育普及)	杉浦 央子
学芸主任 (修復)	貝塚 建
学芸主任 (データベース整理)	池川 佳宏 (～4 月)
学芸主任 (収蔵品台帳等整理)	菊地 悠介
学芸リーダー (教育普及)	安尾 祥子
学芸リーダー (歴史・民俗)	谷 拓馬
学芸リーダー (歴史・民俗)	霜村 光寿
学芸リーダー (収蔵品台帳等整理)	氏家 みち江
学芸リーダー (保存修復)	羽生 佳代
学芸リーダー (歴史・民俗)	林 花音
学芸リーダー (映画)	村岡 由佳子
学芸員	定森 裕太郎
学芸員	中西 香南子 (～4 月)
収蔵品レスキュー	亀上 妹以子
収蔵品レスキュー (非常勤)	飯塚 美樹
収蔵品レスキュー (非常勤)	丸山 幸江

広報部門長	鋒山 元茂
広報主任	竹本 はるか
広報リーダー	石澤 千夏
広報 (非常勤)	榎本 昌代

総務主任	澤口 恭子
総務	武田 智子
総務	大久保 誠二 (～10 月)

川崎市市民ミュージアム条例

昭和 62 年 12 月 22 日条例第 45 号

改正

平成 6 年 10 月 7 日条例第 30 号
平成 12 年 12 月 21 日条例第 78 号
平成 17 年 9 月 30 日条例第 87 号
平成 18 年 6 月 28 日条例第 53 号
平成 21 年 12 月 24 日条例第 47 号
平成 27 年 3 月 23 日条例第 2 号
平成 28 年 3 月 24 日条例第 18 号
令和 3 年 12 月 16 日条例第 81 号

(目的及び設置)

第 1 条 考古、歴史、民俗、美術、映像等に関する資料及び作品について収集、展示、調査研究等を行うことにより、市民の観覧、学習、研究等に資するとともに市民相互の交流を推進し、もって市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、川崎市市民ミュージアム（以下「市民ミュージアム」という。）を設置する。

(位置)

第 2 条 市民ミュージアムの位置は、川崎市中原区等々力 1 番 2 号とする。

(事業)

第 3 条 市民ミュージアムは、おおむね次の事業を行う。
(1) 考古、歴史、民俗、絵画、工芸、漫画、写真、ポスター、映像等に係る実物、複製、模型等の資料及び作品（以下「資料等」という。）の収集、保管、展示等を行うこと。
(2) 資料等を熟覧、模写、模造、拓本、撮影及び原板使用に供すること。
(3) 資料等に関する講座、講演会、映写会、研究会等を開催すること。
(4) 資料等に関する説明及び助言を行うこと。
(5) 市民の文化活動の助長、奨励及び指導を行うこと。
(6) 資料等に関する専門的及び技術的な調査研究並びに解説書、目録、年報、調査研究報告書等の作成及び頒布を行うこと。
(7) 博物館、図書館、学校、研究所その他の関係機関と協力し、刊行物及び情報の交換、資料等の相互貸借等を行うこと。

(職員)

第 4 条 市民ミュージアムに館長その他必要な職員を置く。

(損害の賠償)

第 5 条 資料等を損傷し、又は滅失させた者は、市長の指示に従いこれらを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない理由があると認めるときは、賠償額を減額し、又は免除することができる。

(委任)

第 6 条 この条例の施行に関し必要な事項は、市長が定める。

附 則

この条例の施行期日は、市長が定める。(昭和 63 年 10 月 7 日規則第 85 号で昭和 63 年 11 月 1 日から施行)

附 則 (平成 6 年 10 月 7 日条例第 30 号)

この条例は、平成 6 年 10 月 17 日から施行する。

附 則 (平成 12 年 12 月 21 日条例第 78 号)

この条例は、平成 13 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 17 年 9 月 30 日条例第 87 号)

この条例は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 18 年 6 月 28 日条例第 53 号)

この条例は、平成 18 年 10 月 1 日から施行する。ただし、第 5 条及び別表第 1 の改正規定並びに別表第 2 の次に 1 表を加える改正規定(展示室及び遺囑展示空間に係る部分に限る。)は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 21 年 12 月 24 日条例第 47 号抄)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。
(川崎市スポーツ振興審議会条例等の一部改正に伴う経過措置)
- 12 この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前に教育委員会が行った処分その他の行為で、施行日においてこの条例の附則の規定による改正後の次に掲げる条例の規定により当該行為を行うべきものが市長となるものは、施行日以後においては、市長が行った処分その他の行為とみなす。
 - (1) 川崎市スポーツ振興審議会条例
 - (2) 川崎市とどろきアリーナ条例
 - (3) 川崎市体育館条例
 - (4) 川崎市スポーツセンター条例
 - (5) 川崎市武道館条例

- (6) 川崎市市民ミュージアム条例
- (7) 川崎市岡本太郎美術館条例
- (8) 川崎市大山街道ふるさと館条例

附 則（平成 27 年 3 月 23 日条例第 2 号抄）

（施行期日）

- 1 この条例は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。ただし、次の各号に掲げる規定は、当該各号に定める日から施行する。
 - (1) 第 16 条、第 17 条及び第 20 条の規定 平成 27 年 5 月 1 日
 - (2) 第 3 条の規定 平成 27 年 6 月 1 日
 - (3) 第 19 条の規定 平成 27 年 7 月 1 日
 - (4) 第 7 条の規定 平成 28 年 4 月 1 日
 - (5) 第 12 条、第 14 条及び第 15 条の規定 平成 28 年 5 月 1 日
 - (6) 第 2 条、第 4 条、第 11 条、第 13 条及び第 18 条の規定 平成 28 年 6 月 1 日
 - (7) 第 6 条の規定 平成 28 年 9 月 1 日
 - (8) 第 5 条の規定 平成 28 年 10 月 1 日
 - (9) 第 8 条の規定 平成 28 年 11 月 1 日

附 則（平成 28 年 3 月 24 日条例第 18 号）

（施行期日）

- 1 この条例は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 3 条の次に 3 条を加える改正規定（第 3 条の 2（指定管理者に市民ミュージアムの管理を行わせることに係る部分を除く。）に係る部分に限る。）は、公布の日から施行する。

（経過措置）

- 2 この条例の施行の際現に効力を有する市長の行った利用許可その他の行為で、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）において改正後の条例（以下「新条例」という。）の規定により当該行為に相当する行為を行うべきものが新条例第 3 条の 2 第 1 項に規定する指定管理者（以下「指定管理者」という。）となるものは、施行日以後においては、指定管理者の行った利用許可その他の行為とみなす。
- 3 改正前の条例の規定により発行された共通利用券又は特別入場券については、新条例別表第 1 の規定にかかわらず、施行日以後引き続き使用することができる。

附 則（令和 3 年 12 月 16 日条例第 81 号抄）

（施行期日）

- 1 この条例は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。

（経過措置）

- 2 この条例の施行の日前に支払われた観覧料（共通利用券及び特別入場券に限る。）に係る改正前の条例第 16 条の規定による返還については、なお従前の例による。この場合において、同条ただし書中「指定管理者」とあるのは、「市長」とする。

川崎市市民ミュージアム観覧料及び特別利用等に関する要綱

令和4年1月28日付け3川市文第930号副市長専決

(目的)

- 第1条 この要綱は、本市が川崎市市民ミュージアム条例（昭和62年12月22日条例第45号）（以下「条例」という。）第3条に規定する事業の実施に係る料金の徴収等に関し必要な事項を定めるものとする。

(観覧料)

- 第2条 市長は、川崎市市民ミュージアム（以下「市民ミュージアム」という。）が条例第3条第1号に規定する展示を行うにあたり、会場へ入場しようとする者から、観覧料を徴収することができる。
- 2 前項の観覧料の額は、1人につき2,000円の範囲内で市長が展覧会ごとに定める。

(特別利用)

- 第3条 条例第3条第2号に規定する資料等の熟覧、模写、模造、拓本、撮影及び原板使用（以下「特別利用」という。）については、川崎市財産規則（昭和39年4月1日規則第33号）第52条の規定及び次に定めるところにより行うものとする。
- 2 特別利用をしようとする者は、特別利用申込書（第1号様式）を市長に提出し、承認を受けなければならない。
- 3 市長は、特別利用を承認したときは、申請をした者に特別利用承認通知書（第2号様式）を交付する。
- 4 市長は、特別利用を承認するときは、次に掲げる条件を付することができる。
- (1) 特別利用によって得たもの（以下「模写資料等」という。）を展示し、又は出版物等に掲載するときは、市民ミュージアムの所蔵に係るものであることを適切な方法で表示すること。
- (2) 無断で模写資料等の複製、出版物等への掲載、上映、放送又はこれらに類する行為をしないこと。
- (3) 資料等を撮影したときは当該撮影によって得た画像データ等を、模写資料等を出版物等へ掲載したときは当該出版物等を本市に提供すること。
- (4) その他市長が必要と認める事項
- 5 市長は、次に掲げる資料等については、特別利用を承認しない。
- (1) 特別利用によって資料等の保存に影響を及ぼすおそれがあると認めるもの
- (2) 寄託された資料等で寄託者の同意を得ていないもの
- (3) 著作権が存する資料等で著作権者等の同意を得ていないもの
- (4) その他市長が特別利用することを不適当と認めるもの
- 6 特別利用に関する連帯保証人は不要とする。
- 7 市長は、第2項の承認を受けた者がその条件に違反したとき、又は違反するおそれがあるとき、その他市長が管理上の支障があると認めるときは、当該承認を取り消し、又は特別利用を制限し、若しくは停止することができる。
- 8 市長の承認を受けた者は、次に定める区分に応じ、特別利用料を利用期間内に納付しなければならない。ただし、特別の理由があると認めるときは、この限りではない。

区 分	単 位	特別利用料
熟 覧	1 点 1 日	200 円
模 写		1,000 円
模 造		1,000 円
拓 本		1,000 円
撮 影	1 点	300 円
原板使用	1 枚	2,000 円

- 9 特別利用は、市長の指示に従って行わなければならない。

(受講料及び入場料)

- 第4条 市長は、条例第3条第3号に規定する事業を行うにあたり、講座、講演会、研究会等に参加しようとする者から受講料を、映画会に入場しようとする者から入場料を徴収することができる。
- 2 前項の受講料及び入場料の額は、市長がその都度定める。

(観覧料等の減免)

- 第5条 市長は、特に必要があると認めるときは第2条第1項に規定する観覧料、第3条第8項に規定する特別利用料及び第4条第1項に規定する入場料（以下「観覧料等」という。）を次のとおり免除することができる。
- (1) 観覧料及び入場料
- ア 学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に規定する幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校その他これらに準ずる教育施設が教育課程に基づく教育活動の場合
- イ 児童福祉法（昭和22年法律第164号）第7条第1項に規定する児童福祉施設が当該施設の活動の場合
- ウ 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の規定による身体障害者手帳、戦傷病者特別援護法（昭和38年法律第168号）第4条第1項又は第2項の規定による戦傷病者手帳、原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律（平成6年法律第117号）第2条第3項の規定による被爆者健康手帳、療育手帳（知的障害者の福祉の充実を図るため、児童相談所又は知的障害者更生相談所において知的障害と判定された者に対して支給される手帳で、その者の障害の程度その他の事項の記載があるものをいう。）、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の規定による精神障害者保健福祉手帳等（以下「身体障害者手帳等」という。）の交付を受けている者（これらの者の介護者を含む。）の場合
- (2) 特別利用料
- ア 市又は国若しくは他の地方公共団体がその事業の用途に供することを目的とする場合
- イ 私立の博物館、美術館、図書館、学校、研究所等がその事業の用途に供することを目的とする場合
- ウ 専ら学術研究の用途に供することを目的とする場合

- 2 市長は、前項の規定によるほか、特別の理由があると認めるときは、観覧料等を減額し、又は免除することができる。
- 3 前2項の規定による観覧料等の減額又は免除を受けようとする場合は、あらかじめ市長に申請しなければならない。ただし、第1項第1号ウの場合にあっては、身体障害者手帳等の提示をもって、当該申請に代えることができる。また、第1項第2号の場合にあっては、特別利用料減免申請書（第3号様式）を使用するものとする。

（観覧料等、受講料の返還）

第6条 既に支払われた観覧料等及び第4条第1項に規定する受講料は、返還しない。ただし、次に掲げる場合は、市長はその全部又は一部を返還することができる。

- (1) 災害その他の事故により当該利用ができない場合 全額
- (2) 管理上の必要から入場を禁止し、若しくは制限し、又は特別利用の承認を取り消した場合 全額
- (3) 前2号に定めるもののほか、市長が正当な理由があると認める場合 市長が認める額

（その他）

第7条 この要綱の実施について必要な事項は、市長が定める。

附 則

この要綱は、令和4年4月1日から施行する。

川崎市市民ミュージアム資料等収集懇談会開催運営等要綱

令和4年10月27日付け4川市ミ第288号局長専決

(趣旨)

第1条 この要綱は、川崎市市民ミュージアム資料等収集懇談会（以下「懇談会」という。）の運営に関し、必要な基本事項を定める。

(目的)

第2条 市長は、川崎市市民ミュージアムにおいて資料及び作品（以下「資料等」という。）の適正かつ公正な収集等を図るため、次に掲げる事項について、懇談会の委員の意見を求める。

- (1) 収集を予定する資料等の資料収集方針との適合性に関すること。
- (2) 収集を予定する資料等の学問的価値に関すること。
- (3) 収集を予定する資料等の芸術性に関すること。
- (4) 収集を予定する資料等の真贋性に関すること。
- (5) その他必要な事項に関すること。

(懇談会の開催)

第3条 懇談会は、次の各号の場合において開催する。

- (1) 価格が100万以上であると見込まれる資料等を購入する場合
- (2) 文化財指定が見込まれる資料等の寄贈受入や購入の場合
- (3) コレクションや一定程度まとまりのある資料等の寄贈受入で、懇談会の委員に意見を求めることが適当であると考えられる場合
- (4) その他市長が懇談会の委員に意見を求める必要があると認める場合

(委員)

第4条 懇談会の委員は、専門的知識等を有する者2名以上をもって構成し、就任を依頼する。

2 委員の任期は、就任の日から前条に規定する懇談会の終了までの期間とする。

(守秘義務)

第5条 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また同様とする。

(庶務)

第6条 懇談会の庶務は、市民文化局川崎市市民ミュージアムにおいて処理する。

附 則

この要綱は、令和4年10月27日から施行する。

川崎市市民ミュージアム資料等評価懇談会開催運営等要綱

令和5年1月19日付け4川市ミ第411号局長専決

(趣旨)

第1条 この要綱は、川崎市市民ミュージアム資料等評価懇談会（以下「懇談会」という。）の運営に関し、必要な基本事項を定める。

(目的)

第2条 市長は、川崎市市民ミュージアムにおいて資料及び作品（以下「資料等」という。）の適正かつ公正な収集等を図るため、次に掲げる事項について、懇談会の委員の意見を求める。

- (1) 収集を予定する資料等の真贋の鑑定に関すること。
- (2) 収集を予定する資料等の購入価格の評価に関すること。
- (3) その他必要な事項に関すること。

(懇談会の開催)

第3条 懇談会は、必要に応じて開催することとする。

(委員)

第4条 懇談会の委員は、専門的知識等を有する者2名以上をもって構成し、就任を依頼する。ただし、川崎市市民ミュージアム資料等収集懇談会委員と併任することはできない。

2 委員の任期は、就任の日から前条に規定する懇談会の終了までの期間とする。

(守秘義務)

第5条 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また同様とする。

(庶務)

第6条 懇談会の庶務は、川崎市市民ミュージアムにおいて処理する。

附 則

この要綱は、令和5年1月19日から施行する。

川崎市文化芸術振興会議市民ミュージアム部会設置要綱

令和 4 年 9 月 26 日 4 川市ミ第 226 号局長専決

(趣旨)

- 第 1 条 この要綱は、川崎市文化芸術振興会議規則（平成 17 年 9 月 15 日規則第 99 号。以下「規則」という。）第 6 条に基づき設置する川崎市文化芸術振興会議市民ミュージアム部会（以下「市民ミュージアム部会」という。）について、川崎市文化芸術振興条例（平成 17 年 3 月 24 日条例第 8 号。以下「条例」という。）及び規則に定めるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

- 第 2 条 市民ミュージアム部会の所掌事務は、次のとおりとする。
- (1) 川崎市市民ミュージアムの事業評価に関すること
 - (2) その他川崎市市民ミュージアムの円滑な運営に関すること

(組織等)

- 第 3 条 市民ミュージアム部会は、川崎市文化芸術振興会議（以下「振興会議」という。）の会長から指名された振興会議委員及び臨時委員によって構成する。
- 2 市民ミュージアム部会員の任期は、振興会議委員と同一とする。
 - 3 任期の途中で部会員に欠員が出た場合は、振興会議会長が補欠の委員を指名するものとし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(庶務)

- 第 4 条 市民ミュージアム部会の庶務は、市民文化局川崎市市民ミュージアムにおいて処理する。

(その他)

- 第 5 条 この要綱に定めるもののほか、市民ミュージアム部会の運営に必要な事項は、部会長が部会に諮って定める。

附 則

- この要綱は、令和 4 年 10 月 1 日から施行する。

かわさき市美術展懇談会開催運営等要綱

令和4年6月9日 4川市ミ第113号局長専決

(趣旨)

第1条 この要綱は、かわさき市美術展懇談会（以下「懇談会」という。）の運営に関し、必要な基本事項を定める。

(目的)

第2条 市民文化局長は、かわさき市美術展（以下「美術展」という。）の開催にあたり、次に掲げる事項について、懇談会の委員の意見を求める。

- (1) 本市の文化振興上、より効果的な美術展とする取組に関すること。
- (2) 展示及び会場運営に関すること。
- (3) その他必要な事項に関すること。

(委員等)

第3条 懇談会の委員は、次に掲げる者の中から4名以内に就任を依頼し、構成する。

- (1) 美術作家または美術評論家
- (2) 学識経験者
- (3) 川崎市文化団体関係者
- (4) 学校美術教育関係者

- 2 委員の任期は、就任の日から当該年度の3月31日までとし、欠員が生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(庶務)

第4条 懇談会の庶務は、市民文化局川崎市市民ミュージアムにおいて処理する。

附 則

この要綱は、令和4年6月15日から施行する。

